

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
北海道	1区	千葉 なおこ	共産	5	5	5	5	5	5		
		自由記述	日本は、難民と認定してほしいと要望している人の99%を認定していません。スリランカのウィシユマさんが亡くなった悲惨な事件後も改善はされていません。難民認定を要望する外国人は、その幸福追求権も生存権さえ保障されていません。難民条約を批准としてとして許されないことだと思えます。2023年に入管法が改悪されて、難民認定申請中の方を強制送還できるようにして、永住者の資格を取り消す制度もつくられました。日本国憲法が定める人権尊重を踏みにじる状況です。こんな事態の大本には、自民党政治の外国人差別と排外主義があると思います。日本共産党はこれまで、難民への人権侵害を厳しく告発し、難民支援の運動にも連帯してきました。入管法の改悪には最後まで反対して、外国人に対する「差別と排斥の歴史を終わらせて、保護と共生を」と訴えてきました。国際人権法を遵守して、法務省から独立した難民認定機関の設置し、長期収容には期限を設定するなどの入管法の改正が今すぐに必要です。								
	道下 大樹	立民	5	4	4	4	5	5	4	5	
		自由記述	現行の難民認定制度・収容送還制度を抜本的に見直し、わが国が締約国となっている「難民の地位に関する条約」や「国際人権規約」等の国際ルールに基づいて、保護すべき難民申請者や補完的保護対象者等を適切に保護できる新たな難民認定・保護制度の確立を目指します。								
	2区	松木 けんこう	立民	5	5	4	4	5	4	3	5
			自由記述	恥ずかしながら、今まで難民の保護にコミットした事はありません。政治的な事、政策立案以外も何かあればお手伝いしたいと考えます。							
	宮内 しおり	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本は難民と認定すべき人の99%を認定せずに排斥、ウィシユマさんが亡くなった事件後も処遇は変わらず、幸福追求権も生存権も奪われています。難民条約を批准した国として許されません。23年の入管法改悪では難民認定申請中の強制送還を可能にし、永住者資格の取り消し制度などが強行されるなど、日本国憲法が定める人権尊重をふみにじる状況がさらに悪化しています。自民党政治による外国人差別と排外主義が元凶です。日本共産党はこれまで、難民への人権侵害を厳しく告発し、難民支援の運動にも連帯して支援を重ねて要求してきました。入管法改悪には最後まで反対し、外国人に対する「差別と排斥の歴史を終わらせ、保護と共生を」と訴えました。国際人権法を順守し、法務省から独立した難民認定機関の設置や長期収容に上限を設定するなど抜本的な入管法改正をただちに行うべきです。外国にルーツのある人たちの尊厳を守り、共に生きる制度にすべきです。								
	3区	伊藤 りち子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本共産党はこれまででも、難民への人権侵害を厳しく告発し、難民支援の運動にも連帯してきました。入管法改悪には最後まで反対し、外国人に対する「差別と排斥の歴史を終わらせ、保護と共生を」と訴えてきました。							
4区	おおつき くれは	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	我が国の難民認定率は先進国の中でも低調です。その問題は認定根拠が不透明な上、申請が認められなかった後には不当な扱いを受けているケースも多く見られる。そのような実態を踏まえて、難民条約を正しく運用する為、法整備を進める必要があると考えます。								
	佐々木 あけみ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
自由記述	難民条約、国連難民高等弁務官事務所の基準など国際人権法を順守し、法務省から独立した難民認定機関の設置など、抜本的な入管法改正、入管庁改革を行います。国連拷問禁止委員会などから厳しく批判されてきた長期収容に上限を設定し、人身拘束はかならず司法審査を行います。難民認定申請中の強制送還を可能とする改悪は無効化します。新設された永住権取り消し規定を削除します。										
5区	池田 まき	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	・適切に保護できる新たな難民認定・保護制度を確立するため、第三者機関である「難民等保護委員会」の創設など柱とする「難民等保護法・入管法等改正」の制定を目指したい。 ・戦争等避難者を緊急・円滑に受け入れ、日本で安心して暮らせるよう、医療・福祉、就労、教育、住宅などの支援を展開したい。								
	鈴木 りゅうじ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
自由記述	日本は難民と認定すべき人の99%を認定せずに排斥、ウィシユマさんが亡くなった事件後も処遇は変わらず、幸福追求権も生存権も奪われています。許されません。日本国憲法が定める人権尊重を踏みにじる状況がさらに悪化しています。（入管法改悪により、難民認定申請中の強制送還、永住者資格取り消しなどを強行）自民党政治による外国人差別と排外主義が元凶です。 日本共産党はこれまで、難民への人権侵害を厳しく告発。難民支援の運動にも連帯し、支援を重ねて要求してきました。外国にルーツのある方たちの尊厳を守り、共に生きる制度にすべきです。										
北海道	6区	東 国幹	自民	4	3	2	2	3	3	4	
			自由記述								
	西村 将人	立民	5	5	4	4	5	4	3	5	
		自由記述									
7区	しのだ 奈保子	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	難民支援をする弁護士の方々と親交があります。私もみなさんの力になりたいと思います。ご支援よろしくお願いたします。								

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない			問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください	8区	逢坂 誠二	立民	5	4	4	4	4	4	4	5	
		自由記述										
	本間 かつみ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本共産党は入管法の改悪に反対し、難民への人権侵害を厳しく告発してきました。外国人差別と排外主義的な政治を変えることが求められます。法務省から独立した難民認定機関の設置など入管法改正を直ちに行うべきです。									
	9区	たつの 広志	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述										
10区	神谷 ひろし	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	国際化が否応なしに進んでいくと思いますが、少なくとも司法の関与を入れ、「法治国家」としての矜持を持てるよう取り組みたいと思います。									
北海道	11区	石川 香織	立民	5	5	5	5	4	5	5	5	
		自由記述										
	佐藤 耕平	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本は難民と認定すべき人の99%を認定せずに排斥、ウィシュマさんが亡くなった事件後も処遇は変わらず、幸福追求権も生存権も奪われています。難民条約を批准した国として許されません。23年の入管法改悪では難民認定申請中の強制送還を可能にし、永住者資格の取り消し制度などが強行されるなど、日本国憲法が定める人権尊重をふみにじる状況がさらに悪化しています。自民党政治による外国人差別と排外主義が元凶です。日本共産党はこれまで、難民への人権侵害を厳しく告発し、難民支援の運動にも連帯して支援を重ねて要求してきました。入管法改悪には最後まで反対し、外国人に対する「差別と排斥の歴史を終わらせ、保護と共生を」と訴えました。国際人権法を順守し、法務省から独立した難民認定機関の設置や長期収容に上限を設定するなど抜本的な入管法改正をただちに行うべきです。外国にルーツのある人たちの尊厳を守り、共に生きる制度にすべきです。									
	12区	川原田 英世	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	世界の後進国と厳しい環境で生活をする方々をみてきました。これからは戦争、環境問題、そして経済的な問題での難民も増えてくるのではないかと思います。積極的な難民の保護と生活支援が必要だと考えています。								
青森	1区	さいとう みお	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	今回のアンケート設問への回答に尽力します。戦乱など諸事情で避難した外国人には、ウクライナ避難民と同水準の支援を行う。人権を守る。								
		津島 淳	自民	5	5	5	5	5	3	4	5	5
			自由記述	法務副大臣の就任時、ポーランドを訪問。ウクライナ難民問題について同国担当者と意見交換し、その後の日本での対策に道筋をつけた。人権や、難民問題について理解を深めるために学校教育で取り上げる機会を多くすべきである。すべての人の人権保護に向け、包括的差別禁止法を実現し、共感と寛容の共生社会づくりに取り組みたい。								
	ますた 世喜男	立民	5	5	4	5	5	5	5	5	5	
		自由記述										
	2区	久保 しょう	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	難民保護を促進する政策に変えるための政治実現に向けて取り組みを強めていきたい。								
	3区	岡田 はなこ	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	国際人権機関などは、日本の極端に低い難民認定率に深刻な懸念を示すとともに、司法審査を経ない、身体拘束や無期限収容を国際法違反の人権侵害だと批判しています。立憲民主党が提出した議員立法「難民等保護法案・入管法等改正案」では、出入国を規制する入管庁ではなく、政府から独立して難民を認定・保護する第三者機関の創設を提案し、収容にあたっては、裁判所の許可を要件としました。また、外国人を労働者として、日本で共に暮らす生活者として受け入れ、ともに円滑に生活するための議員立法「多文化共生社会基本法案」も既に提出しています。引き続き民族や国籍などに関するあらゆる差別の解消を目指して、「包括的差別禁止法」を制定し、新たな人権救済機関を設置するとともに、個人通報制度を導入するため、立憲民主党は全力を上げて参ります。								
岩手	1区	階 猛	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	・法務委員会筆頭理事として2021年の入管法改正案を廃案に追い込んだ ・名古屋入管でのウィシュマさん死亡事件につき真相解明に取り組んだ ・2024年立案の議員立法「外国人労働者安心就労法案」につき、筆頭提出者として衆議院に提出								
	吉田 恭子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	5	

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、 3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
	自由記述										
	2区	自由記述									
	3区	小沢 一郎	立民	5	5	5	5	4	5	5	5
宮城	1区	岡本 あき子	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	難民等の限定と保護、出入国管理・収容制度の問題を抜本的に改善・透明化する「難民等保護法」「入管法等改正法」の制定に努力したい。							
		高橋 こうじ	維新	4	4	5	4	3	3	3	3
			自由記述	難民の受け入れ体制の整備							
	土井 亨	自民	5	4	4	4	3	4	3	4	
		自由記述									
	2区	鎌田 さゆり	立民	5	3	5	4	5	5	5	2
			自由記述	難民等保護法案・入管法の改正案 国際標準の難民制度へ!! 引き続き、国際社会が協力して命を保護する取り組みを行う							
	3区	柳沢 つよし	立民	5	5	5	5	5	5	4	5
			自由記述	相手国との関係いかんにかかわらず、クルド人のように帰国したら迫害される可能性の高い人々が難民として保護されるよう難民申請の運用を改めるよう取り組みたい							
4区		自由記述									
		自由記述									
5区	境 恒春	維新	5	5	5	5	3	5	5	5	
		自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする偽装難民の問題について対処すべきと考える								
	中嶋 れん	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
自由記述		外国人技能実習制度は、「国際貢献」を名目としながら、その実態は、低賃金、単純労働の受け入れという構造的矛盾をかかえている。深刻な人権侵害を生み出しているその制度は廃止すべきである。日本の難民認定のあり方を抜本的に改善し、難民申請者や難民認定者への支援を充実させる必要がある。									
秋田	1区	鈴木 知	共産	5	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	難民や外国人労働者等の人権に関して、入管法をはじめ、法が差別的な内容になっており、人権を保障する立場で改正が必要。							
	2区	福原 淳嗣	自民	5	3	4	3	4	3	4	
			自由記述								
	山内 梅良	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	難民条約、国連難民高等弁務官事務所の基準など国際人権法を順守し、法務省から独立した難民認定機関の設置など抜本的な入管法改正、入管庁改革を行って人権を守る活動をする。								
3区	村岡 としひで	国民	5	5	4	4	4	4	3		
		自由記述	日本国内の難民の人権を尊重するのは当然のことである。 難民認定を受けた方々に人権上の問題があるのなら、その実態を十分に理解したうえで対応していきたい。								
山形	1区	遠藤 利明	自民	4	4	4	3	3	4	3	
			自由記述								
	原田 まさひろ	立民	4	4	4	4	4	4	4	4	
		自由記述									

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管行から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください	三井寺 修	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本の難民認定が極端に少なくなっている原因の一つが、「難民」の定義を極端に狭くしていることにあります。難民認定を改善し、入管行政と難民審査行政が一体となっているような難民審査体制の改正を含めた、法制度の整備を急ぎます。難民申請者の生活保障と難民認定者への支援を拡充します。難民が生まれる根本原因を一掃するために、日本は平和憲法を持つ国にふさわしく、紛争解決のための外交的な役割を發揮するよう求めます。							
	2区	岩本 康嗣	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本の難民認定が極端に少なくなっている原因の一つが、「難民」の定義を極端に狭くしていることにあります。難民認定を改善し、入管行政と難民審査行政が一体となっているような難民審査体制の改正を含めた、法制度の整備を急ぎます。難民申請者の生活保障と難民認定者への支援を拡充します。難民が生まれる根本原因を一掃するために、日本は平和憲法を持つ国にふさわしく、紛争解決のための外交的な役割を發揮するよう求めます。						
	3区	石黒 さとる	立民	4	4	4	4	4	4	4
			自由記述							
	山田 守	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本の難民認定が極端に少なくなっている原因の一つが、「難民」の定義を極端に狭くしていることにあります。難民認定を改善し、入管行政と難民審査行政が一体となっているような難民審査体制の改正を含めた、法制度の整備を急ぎます。難民申請者の生活保障と難民認定者への支援を拡充します。難民が生まれる根本原因を一掃するために、日本は平和憲法を持つ国にふさわしく、紛争解決のための外交的な役割を發揮するよう求めます。							
福島	1区	金子 恵美	立民	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	政府から独立した第三者機関である「難民等保護委員会」の創設等を柱とする「難民等保護法・入管法等改正法」の制定を目指します。						
	2区	丸本 由美子	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述							
	3区	唐橋 則男	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述							
	4区	くまがい 智	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	2000年代初頭、ベトナムからの技能実習生のみなさんが白河市の縫製工場で違法な無賃状態で働かされている実態がわかり、福島県労連などのみなさんとともに帰国支援の活動に関わりました。外国人労働者を安価な労働力のように扱い、景気の調整弁として使う現状を改めるべきです。入管難民法についても、期限のない長期収容など重大な人権侵害をただちに改めるとともに、全件収容主義を見直すなど根本的な法改正を求める立場です。						
茨城	1区	高橋 誠一郎	共産	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	昨年の改憲法採決で日本共産党は、外国人に対する「差別と排斥の歴史を終わらせ、保護と共生へ」「つないだ手を絶対に離さない」と決意を表明しました。外国ルーツの人たちを尊厳ある人間として受け入れ、共に生きる制度をつくるために入管法の抜本改正が不可欠です。そのためにかんばります。						
	2区	川井 ひろ子	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本は難民の定義を極端に狭く解釈し、難民認定と出入国管理が分離されていないなど、改善が急がれる課題が山積しています。入管法の抜本改善を政府に求めていくとともに、外国人の人権を守り、地域社会で共生できるよう取り組んでいきます。						
		今村 敏昭	維新	5	5	5	5	3	5	5
			自由記述	労働を目的として入国し難民申請する、いわゆる偽装難民の問題について、あわせて対応を検討すべきである。						
	3区	大内 くみ子	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	ウシユマさんの死をきっかけに、入管施設での長期収容や適切な医療が受けられないなどの非人間的な扱いが大問題になりました。しかし、昨年の国会で成立した改悪入管法は、この問題点が何ら改善されていません。外国人の人権問題として大本から見直すことを求めています。						
	4区	吉田 つばさ	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	昨年、改悪入管法が押し切られましたが、野党案にこそ、私たちが望む未来がありました。野党案の到達点にたつて、入管行政と難民認定審査を大本から見直す運動と世論を強めていきたいと思います。						
5区	千葉 たつお	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	昨年、改悪入管法が反対の声を押し切って、自民、公明、維新、国民の賛成で可決・成立しました。本当に残念です。難民認定審査を大もとから見直す運動と世論を強めていかなければと思っています。							

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
茨城	6区	青山 大人	立民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	私の地元隣の市には牛久入管がある。これまでも私は支援ボランティア団体と連携し、入管内の環境改善に努めてきた。健康状態を悪化させ医療が必要な外国人があられた場合に、関係省庁に連絡し迅速に対応する等も行ってきた。引き続き人権擁護に尽力してまいりたい。								
		間宮 みち子（※1）	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	日本の難民認定の少なさに本当に驚きます。世界に紛争がなくなる限り、難民が生まれます。世界平和への努力とともに、人道と共生の立場にたった支援が欠かせないと思います。									
	7区	自由記述									
		自由記述									
栃木	1区	青木 ひろし	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本の制度では、難民と認定すべき外国人が排斥されています。こうした現状を改め、出入国管理と難民保護機関の分離、独立した難民等保護委員会の設置など難民認定制度を抜本的に改革すべきです。								
		板津 由華	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	日本には、無知ゆえの難民に対する差別や偏見が存在している。移民との違いやその背景にある問題を理解できていない場合も多い。無知や無理解から難民や移民を含め、外国人を受け入れる体制や制度、施設や支援が整っていないことが真の問題だと考える。								
	船田 元	自民	4	4	3	3	2	3	3	4	
		自由記述									
	2区	自由記述									
		自由記述									
	3区	自由記述									
		自由記述									
	4区	川上 ひとし	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	日本の難民認定手続きは、審査に弁護士の出会いは録音録画も認められておらず、世界で当たり前前の透明性・公平性からかけ離れています。外国ルーツの人たちを尊厳ある人間として受け入れ共に生きる制度をつくるために入管法の抜本改正が不可欠と考えます。								
5区	岡村 けい子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	入管行政と難民認定審査をおおとから見直すことが必要。改正された入管法は送還忌避罪などを設け、生命の危険をなど母国に帰れない事情をかかえた外国人の送還をさらに容易にするもので大問題です。独立した難民等保護委員会を設置し、出入国管理と難民保護の期間を分離していく。日本で生きる外国人の人権を保障するための法律に切り替えることが必要です。									
群馬	1区	たなはし せつ子	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	"難民問題に、日本政府は先進国として積極的な役割を果たすよう求めます。詳しくは以下の日本共産党ホームページをご覧ください。 https://www.jcp.or.jp/web_policy/2024/10/202410-bunya80.html "								
	2区	高橋 たもつ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	2023年に立憲民主党、日本共産党、れいわ新選組、社会民主党、沖縄の風が共同で提出した「難民等保護法案」「入管法改正案」の成立に努力したい。								
	3区	笹川 博義	自民	5	5	5	4	3	4	4	4
		自由記述	紛争などから逃れて来た人を補完的保護対象者として入国を許可する措置などを盛り込んだ入管難民法改正に法務委員、党法務部会長として携わった。難民の方を支援する民間団体との意見交換も行っており、今後の改善に取り組んで参りたい。								
		長谷川 嘉一	立民	4	3	4	3	3	4	3	5
	4区	はぎわら 貞夫	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	野党4党4会派で2023年に参院に提出した難民等保護法案・入管法改正案の成立に力を尽くしたい。								
		山田 博規	立民	5	5	5	5	5	5	5	5

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
	自由記述										
	5区	伊藤たつや	共産	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	2023年5月9日、日本共産党を含む4党4会派で、難民等保護法案、入管法改定案を参議院に共同提出しました。日本の難民認定率が極めて低いこと、劣悪な収容環境の改善など、難民が保護されない現状の改善に力を尽くします。									
埼玉	1区	あさのめ 義英	維新	5	5	5	3	5	5	5	
			自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする。偽装難民の問題もあわせて対処すべきと考えている。							
		武正 公一	立民	4	3	4	4	3	4	4	4
			自由記述	民主党政権で外務副大臣として第3国定住に取り組みました							
	矢野 ゆき子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	私の住む川口はクルド人が多い所です。言葉の違いや文化の違いで困っている方の相談にのってきました。また、行政に直接はたらきかけて医療の支援にとりくみました。入管法の改正が必要です。								
	2区	おくだ 智子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	党国会議員団が川口市におけるクルド人の居住と人権の問題で調査を行いました。その上で、政府の対応の改善を申し入れました。私も人権尊重を貫いてまいります。							
		高橋 英明	維新	5	5	5	5	3		5	5
			自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする偽装難民の問題もあわせて対処すべきである。							
	3区	石川 たかみ	維新	5	5	5	5	3	5	5	5
			自由記述	労働目的で入国し、難民申請をする偽装難民の問題も併せて、対処すべきと考えている。							
黄川田 仁志		自民	5	1	4	2	1	3	3	3	
		自由記述									
ばば ひろし	共産	5	5	5	5	5	5	5	5		
	自由記述										
4区	工藤 かおる	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述									
5区	枝野 幸男	立民	5	5	3	5	3	4	5	5	
		自由記述									
	山本 悠子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	候補者自身私が、「日本で暮らす難民の保護にむけて、これまで行ってきた取り組み」、「これからも行いたい取り組み」積極的に、それぞれのとり組みをアップしていきたい。								
6区	秋山 もえ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	入管施設でウィシュマさんを含め、2007年以降だけでも17人もの死亡者を出しているのは本当に異常です。 こんなにも日本が外国人に冷たい国だということは、日本人として恥ずかしく、なんとかしたいという思いでいっぱいです。								
	7区	伊勢田 みちこ	維新	5	5	5	5	3	5	5	5
			自由記述	労働を目的として入国し、難民申請する「偽装難民」の問題を合わせて対処する必要がある。 また包括的な差別禁止の法整備の議論は、当然、日本人に対する差別も含まれるべき。							
	佐藤 かずま	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	入管におけるウィシュマさんの悲劇は、くり返してはならない、そもそも起こしてはならない人災による痛ましい事件でした。人間が人間としての扱いを受けられない現状を許さず、改善を求めるすべてのみなさんと連帯して政治の責任で応えていきたいと考えます。								

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください	8区	中野 ひでゆき	自民	4	3	4	2	2	3	2	4
		自由記述	難民等の適正な保護に向けた各種施策の実現に努める。								
	8区	市来 伴子	立民	5	5	4	5	4	5	3	5
			自由記述								
	8区	柴山 昌彦	自民	5	4	3	3	3	4	3	4
			自由記述								
	8区	平井 明美	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本で生活する外国人の困り事の相談会に参加してきました。 ①市役所の窓口がどこへ相談したら良いかわからない。 ②その国の言葉を話せる職員がいないので、きちんと相談にのって頂けなかったことなどもあり、今後も同様の取り組みを続けます。							
	9区	いのまた 嘉直	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	名古屋出入国在留管理局に収容されていた、スリランカ国籍のウイシュマ・サンマダリさんが、管理局の不適切な対応の中で命をうばわれた。こうした事が二度と起きないように、法の改訂に尽力したい。							
	9区	すぎむら 慎治	立民	4	3	3	5	3	4	3	5
			自由記述	日本では混同されがちな移民と難民の問題をしっかりと切り分けて議論できるよう、啓蒙活動に取り組みたいと考えています。							
10区	坂本 祐之輔	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	立憲民主党が提出している議員立法「難民等保護法案・入管法等改正案」や議員立法「多文化共生社会基本法案」の成立に向け、取り組んでまいります。民族や国籍などに関するあらゆる差別の解消を目指して、「包括的差別禁止法」を制定し、新たな人権救済機関を設置するとともに、個人通報制度を導入するため、取り組んでまいります。								
埼玉	11区	柿沼 遥輝	共産	5	5	5	5	5	5	5	
			自由記述								
	12区	森田 俊和	立民	4	4	4	4	4	4	4	4
			自由記述	国際貢献をすることは、日本の大きな柱です。そのために困難に苦しむ方を一人でも多く救いたいと思います。							
	13区	沢口 ちえ子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述								
	14区	石井 啓一	公明	5		4	4	3	4	3	4
			自由記述								
	14区	苗村 京子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	息子夫婦が「難民・移民フェス」に参加しており、興味を持ちました。入管法改正などは、とても問題が多いと感じています。人権の問題として支援を考えていきたいです。							
	15区	守谷 千津子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本が平和で安全な国である信じて、命をかけて日本に来た難民にとってあまりに違う日本の難民政策は早急に改善するべき課題と痛感する。守られるべき人権と公的支援、難民に対しても日本国憲法を基本とする政策がとられるべきと考える。当面、仮放免者の就労を認めるとともに教育活動における行動範囲の制限を見直すこと、教育・医療・保健等での支援の制度化、ヘイトスピーチの禁止を徹底する法改正などが必要だと考えます。							
埼玉	16区	三角 創太	立民	5	5	3	4	4	4	4	5
			自由記述								
16区	ながほり 健	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	難民認定の改善と保護、生活できる公的な仕組み、教育・福祉の充実								
千葉	1区	よだ かずたか	維新	5	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	積極的な受入れと積極的な職業訓練、職業紹介を専門機関を作って対応すべき							

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
千葉	渡部 まさし	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本共産党は難民認定させるため努力してきました。とくに「難民」の定義を極端に狭くしているため、改善を求めてきました。また入管行政と難民審査行政が一体となっている審査体制でなく独立した制度を求め国会論戦してきました。今後も努力をつげます。							
	2区	白石 ちよ	共産	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述								
	3区	柏崎 すえと	共産	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述								
	4区	水沼 秀幸	立民	4	3	3	4	5	3	4
			自由記述	UNHCRへの寄付、難民保護に関する法律の立法検討						
		やかま ケンタ	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本共産党は、「難民」の定義を極端に狭くしている現状を変え、難民認定を認めさせるために改善を求めてきました。また、入管行政と難民審査行政が一体化している体制を、独立した体制にするよう国会で何度も求めてきました。今後も努力を続けます。						
	5区	桜井 雅人	共産	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	日本共産党は難民認定状況を改善させるために努力してきました。とくに、「難民」の定義を極端に狭めているので、改善すべきと求めてきました。また、入管行政と難民審査行政が一体の審査体制ではなく、独立した制度を求め国会論戦してきました。今後も難民の人権を保障させるため力を尽くします。						
千葉	6区	浦野 真	共産	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	あまりにも難民認定が少ない状況を速やかに改め、難民を含めた外国人の人権保障に政府が積極的に取り組むようにしていきたい。							
	原田 よしやす	社民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	運動されている方へのカンパ程度しか行えていません。							
	7区									
		自由記述								
	8区									
		自由記述								
	9区	山崎 はるゆき	共産	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	日本の難民認定制度は、難民条約における「難民」の定義を狭く解釈すること、難民認定行政と出入国管理行政が分離されていないことで、非常に厳しいものとなっています。難民認定のありかたを抜本的に改善します。外国人の人権を守り、地域社会で共生していける入管法への抜本的な改正を求めます。技能実習制度・育成就労制度は、「研修」とは名ばかりの安価な労働力の供給手段となっており、国際社会から様々な懸念が指摘されています。制度の廃止を含めた根本的な見直しを求めます。						
10区	小池 正昭	自民	5	3	5	3	4	4		
		自由記述								
千葉	11区	椎名 史明	共産	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本共産党は、難民認定させるために努力してきました。特に、「難民」の定義を極端に狭くしているため、改善を求めてきました。また、入管行政と難民審査行政が一体となっている審査体制ではなく、独立した制度を求め、国会論戦してきました。今後も努力を続けます。							
	たがや 亮	れいわ	5	5	5	5	5	5		

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない			問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
東京	12区	自由記述	党代表である山本太郎参議院議員は何度も入管施設を訪問し、その被收容者の劣悪な生活環境の実態について、国会で質問してきた。政府提出の問題の多い入管法が強行採決されようとした場合には、身体を張って採決を止めようとした。								
		自由記述	日本で暮らす難民の保護について、これまでは特に目立った取り組みを行ってはいないが、この課題について常に関心を持ち、必要な場合にはしっかりと取り組んでまいりたい。								
	くずはら 茂	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本共産党は、難民認定をさせるための努力をしています。特に「難民」の定義を極端に狭くしているのを、改善するよう求めてきました。また、入管行政と難民審査行政が一体となっている審査体制ではなく独立した制度を求めて国会論戦してきました。今後も努力を続けていきます。								
	ひだか 剛	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述									
	13区	みやかかわ 伸	立民	5	2	4	5	5	5	5	4
		自由記述									
	14区	坂井 ようすけ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	法務省の判断で外国人を収容することができる全件収容主義を改め、収容には司法判断を必須とすること、収容期限に上限を設けること、出入国在留管理庁から難民行政を切り離し、独立した難民等保護委員会を新設することなど、日本共産党は、日本国憲法に立脚して、外国人の人権を守り、地域社会で共生していける入管法への抜本的な改正を求めてきました。引き続き取り組んでいきます。							
	東京	1区	海江田 万里	立民	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述								
中野 けん		共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	昨年成立した改悪入管法が施行され、今年、永住権の取り消しを可能にする、さらなる改悪行われました。憲法11条で、「国民は、すべての基本的な人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的な人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。」と明記され、「国民は」のなかに外国人が含まれることは、通説・判例となっています。入管法を人権を守る法律に変えていこうとする市民と一緒にとりくんでいきたいと思っています。								
2区		自由記述									
		自由記述									
3区		石原 ひろたか	自民	5	3	3	3	3	3	3	3
			自由記述								
香西 かつ介		共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	入管法改悪に反対するデモに参加してきました。人道に反するこの法律をなくしたい。難民認定制度を抜本的に改善して強制送還をなくしたい。								
4区	谷川 智行	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	支援団体の皆さんと協力して、野宿を強いられいる外国籍の難民の方やシェルターに避難されている方々への医療面での支援をさせていただきました。入院を断られた難民の方の入院先探しや北関東医療相談会の皆さんが実施されている健康診断、医療相談のお相手をさせていただきました。入管に収容されている方々への面会支援をされている支援団体の皆さんと連携し、牛久、東京、横浜の入管に伺い、被收容者の方と面談。ご本人の要請を受けて診療録（カルテ）を確認。医療の必要性や仮放免を求める医師意見書を作成し法務省に提出する活動を行ってきました。外国籍の方々の人権や命を蔑ろにしている日本政府の姿勢に強い怒りを感じるとともに、人権後進国日本の現状を変えるために力を尽くしたいと考えています。								
5区	稲葉 太郎	維新	5	5	5	5	3	5	5	5	
		自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする偽装難民の問題もあわせて対処すべきと考えている。								
手塚 仁雄	立民			5	5	5	5	5	5		

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
	自由記述	国際人権機関などは、日本の極端に低い難民認定率に深刻な懸念を示すとともに、司法審査を経ない身体拘束や無期限収容を国際法違反の人権侵害だと批判します。立憲民主党が提出した議員立法「難民等保護法案・入管法改正案」では、出入国を規制する入管庁ではなく政府から独立して難民を認定・保護する第三者機関の創設を提案し、収容に当たっては裁判所の許可を要件としました。また、外国人を労働者として、日本で共に暮らす生活者として受け入れ、ともに円滑に生活するための議員立法「多文化共生社会基本法案」も既に提出しています。 引き続き、民族や国籍などに関するあらゆる差別の解消を目指して、「包括的差別禁止法」を制定し、新たな人権救済機関を設置すると共に、個人通報制度を導入するため、立憲民主党は全力をあげて参ります。									
東京	6区										
		自由記述									
	7区	小野 たいすけ	維新	5	4	5	5	3	5	5	
		自由記述									
	8区	吉田 はるみ	立民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	2024年4月の法務委員会にて日本で生まれ育ちながら強制退去となった外国籍の子どもらが安心して日本で過ごせるよう訴え、2023年8月4日法務大臣の特別措置により在留資格のない子ども7割超に在留特別許可付与を実現しました								
東京	9区（※2）										
		自由記述									
	10区	鈴木 ようすけ	立民	5	5	5	5	5	5	4	5
	自由記述	難民認定をUNHCR基準で行う、入管庁から独立した第三者機関を設立。									
東京	11区	阿久津 幸彦	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	・2011年3月14日～約2ヶ月間、東日本大震災政府現地対策本部の本部長代行（衆議議員、内閣府大臣政務官）として、対策本部へのNGO参加（JPF、ADRA）を初めて認めた。その結果、混乱の中、行政や政治家から忘れられていた「災害時の全ての外国人への対応強化」の視点が、若干でも改善されたと思う。（日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会へ向け） ・その後、落選を機に、2015～2017年ジャパンプラットフォーム国内事業部長に就任。柴田海外事業部長（当時）や高杉氏と連携し、難民に対する国民の理解を深める為に、関連するNGO団体との協力、勉強会参加など、様々な試みを通じて、国民の理解増進をめざした。しかし、今日の難民への一部国民からの厳しい目に残念な気持ちでいっぱい。「人権」への理解を深める努力を行っていきたい。								
	12区	田原 聖子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	労働組合運動の運動に20年間携わってきました。その中で、外国人労働者の労働組合とも交流があり、難民の保護の問題についても問題意識を共有してきました。回答した方向での政策の実現に向けて頑張ります。								
	13区	森 ようすけ	国民	5	4	4	4	3	3	4	5
		自由記述									
東京	14区	原 努	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	これまで改正入管法の反対行動に参加、取り組んできました。以前、墨田区で活動するメンバーを中心に入国管理センターに収容されている方達の環境改善を求めるとりくみもしてきました。難民申請数が極めて少ない状況は異常です。国際基準に則った受け入れ、また、入国管理センターの実態の改善を強く進めていきたい。								
	15区	小堤 東	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述										
東京	16区	柴田 かつゆき	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	弁護士として難民問題には関心を持っており、難民支援協会のサポーターをしていました。								
		大西 英男	自民	4	3	3	3	4	3	4	4
		自由記述	外国人、難民の方々に限らず、全ての方々に人権は守られるべきであり、特段、難民の方々に特化すべき事項以外に関しては、特別法を作るか否かははっきりとした議論が必要と考えます。 例えば、困窮した方々への支援は、難民であるか否かを問わず行われるべきと考えます。								
	宮本 栄	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
東京	17区	新井 杉生	自由記述	入管による外国人に対する人権無視の対応は大問題。ただちに是正すべき。警察などの対応も同様。						
			共産	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	入管法改悪反対の宣伝に参加してきました。過去の植民地支配を否定する歴史史的修正主義と問う論戦・宣伝を選挙のたびにしておこないました。日本でくらす、すべての人権と尊厳を守るために。たたかい続けます。							
		円より子	国民	5	5	5	5	5	5	5
	18区	樋口 まこと	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	難民条約、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の基準など国際人権法を順守し、法務省から独立した難民認定機関の設置など抜本的な入管法改正、入管庁改革を行わせていきたいと思えます。また、国連拷問禁止委員会などから厳しく批判されてきた長期収容に上限を設定し、人身拘束はかならず司法審査を行います。難民認定申請中の強制送還を可能とする改悪は無効化します。新設された永住権取り消し規定を削除します。戦乱など諸事情で日本に避難した外国人には、ウクライナ避難民と同水準の支援を行います。日本生まれ、日本育ちの子どもとその家族に、実情に即した在留特別許可を積極的に進めます。						
		松下 玲子	立民	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述								
	19区	いでしげ 美津子	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述							
	20区	宮本 徹	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述							
東京	21区	大河原 まさこ	立民	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	すべての子どもたちが同様の教育が受けられるよう働きかけてきた。特に地元の朝鮮学校の子どもたちに対する差別問題に尽力しています。						
		山下 ようこ	維新	5	4	5	4	4	5	2
		自由記述	人類の尊厳は平等であり、命を守ることを大前提として施策を展開しなければならない。							
	22区	平野 よしたか	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	難民の就労・キャリア支援を行っている方と8年前に東日本大震災の支援活動でご一緒し、貴重な経験を伺い、迫害を受けて日本に逃れてきた方々と共生は可能だと実感しました。しかし日本の入管行政は、戦前の人権無視の暗黒時代を思いおこさせるような、異常極まりない状態と考えています。永住権取消し規定の削除をはじめ、国際人道法を守るための抜本的な入管法改正、入管庁改革を行います。						
		山花 郁夫	立民	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	以前、入管難民法の対案（民主党案）を提出し、本会議で趣旨説明・質疑を行いました。前の任期では法務委員会で対政府質疑を行いました							
	23区		自由記述							
			自由記述							
24区	有田 芳生	立民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	参議院法務委員会に11年所属していましたが、ヘイトスピーチ解消法の制定のあと入管法改正問題などに取り組みました。日本はまだまだ人権後進国。国際人権基準に追いつかなければなりません。							
25区	池田 公三	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述								
	井上 信治	自民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述								
	よだ かれん	れいわ	5	5	5	5	5	5	5	
自由記述		行政書士として、外国からいらっしゃる皆さんの支援にたずさわって参りました。日本における難民含む外国の皆さんの取り扱い、まさに安全保障政策だと認識しています。我が国が世界で名譽ある地位を築くためにも、難民・外国からいらした皆さんを含む、誰もが安心安全に暮らせる社会を目指して参ります。								

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない			問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
東京	26区										
		自由記述									
	27区	石倉 弘次郎	無所属	4	4	3	3	3	3	3	3
			自由記述								
		長妻 あきら	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述								
	28区	たかの 直美	共産	5	5	4	5	5	5	5	5
			自由記述								
	29区	岡本 三成	公明	5	3	4	3	3	2	3	4
			自由記述								
		木村 たけつか	立民	5	5	4	4	4	5	4	5
			自由記述								
30区	早川 かん	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述									
神奈川	1区	蓮池 幸雄	共産	5	5	5	5	5	5	5	
			自由記述								
	2区	並木 まり子	共産	5	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	支援団体のとりくみに協力するとともに、なかなか声をだせないでいる難民の方々の声にアンテナをはり、よりそった対応をしていきたい							
	3区	中村 たけと	立民	5	5	4	4	5	5	4	5
			自由記述								
		横山 征吾	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	いわゆる難民の人権を蔑ろにする日本政治の根本には戦前の特高警察による外国人差別の思想や仕組みが根深く残っているという問題があります。アジアに侵略したことへの本当の反省が行われることが絶対に必要です。どんな人でも一人ひとりの命と暮らしを大事にする政治にしていくために憲法の立場に立ち草の根からの声を大事にしてとりくんでいきたい。							
	4区	加藤 ちか	維新	5	5	5	5	3	3	3	3
			自由記述	東アジア情勢の不安定さが増大した場合、日本にもこれまでとは比較にならない規模の難民申請が発生する可能性がある。我が国としてしっかり方向感を定め、法整備を迅速に進めて参りたい。							
		早稲田 ゆき	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述								
	5区	久坂 くにえ	維新	5	5	5	5	3	5		5
			自由記述	あるベ難民センター（鎌倉）において、視察を行い難民の皆さんの現状を把握しました。また、偽装難民の課題については取組をすすめるべきと考えます							
		高宮 みち子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本語を話せない人たちに日本語通訳者のサポートをつけることが望ましい。							
		山崎 誠	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	難民だけでなく、地域で暮らす外国人住民との共生を進めるため、地域独自の取り組みを応援していきたい。							
6区	あおやぎ 陽一郎	立民	4	4	4	4	4	4	4	5	
		自由記述	党として本年の通常国会に「外国人労働者安心就労法案」を作成し提出。単に労働者不足を補うものではなく、人権に配慮し、外国人との共生社会をつくっていく多面的な法整備を行う取り組みを進めている。								

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
7区	植木 真理子	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述								
	中谷 一馬	立民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	「入管法改悪反対！緊急院内集会～移民・難民の排除ではなく共生を～」 http://frj.or.jp/news/news-category/form-frj/4287/ 第204回国会 法務委員会 第19号（令和3年5月7日（金曜日）） https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_kaigiroku.nsf/html/kaigiroku/000420420210507019.htm 第204回国会 法務委員会 第17号（令和3年4月23日（金曜日）） https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_kaigiroku.nsf/html/kaigiroku/000420420210423017.htm							
	むなかた 富次郎	維新	5	5	5	5	3	5	5	
		自由記述	労働目的として入国し、難民進史枝する偽装難民の問題も併せて検討することが必要である。							
8区	飯田 能生	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	難民に限らず、国内に居住または滞在する外国人の人権をしっかりと保護する法制度の整備が必要だと考えます。ヘイトスピーチなどの差別と偏見を根絶することが日本国憲法の目指すところだと思います。							
	江田 けんじ	立民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	国際人権機関などは、日本の極端に低い難民認定率に深刻な懸念を示すとともに、司法審査を経ない身体拘束や無期限収容を国際法違反の人権侵害だと批判しています。 立憲民主党が提出した議員立法「難民等保護法案・入管法等改正案」では、出入国を規制する入管庁ではなく、政府から独立して難民を認定・保護する第三者機関の創設を提案し、収容に当たっては裁判所の許可を要件としました。また、外国人労働者として、日本で共に暮らす生活者として受け入れ、ともに円滑に生活するための議員立法「多文化共生社会基本法案」もすでに提出しています。 引き続き、民族や国籍などに関するあらゆる差別の解消を目指して、「包括的差別禁止法」を制定し、新たな人権救済機関を設置するとともに、個人通報制度を導入するため、立憲民主党は全力をあげてまいります。							
9区	赤石 ひろ子	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	クルド難民の支援にあたってはいる方々の話を聞く機会が何度かありました。人権無視の対応の現実に驚くことは多々あります。 根本的には法改正が必要と思いますが、 ①難民問題に関する啓発活動(日本人はまだまだ、難民についての知識が不足しています。まずは現状把握をする。そこで難民についての関心を高め、さらには困っていることを具体化することが大事だと思います) ②言語の支援活動(まずは日本で生活するうえで欠かせない言語の獲得。これを無料で行える機会、場所をつくる) ③難民との文化交流(私は和太鼓を通じた文化交流イベントに何度か参加した経験があり、音楽や芸術が互いを理解し、リスペクトするためのとても重要なツールだと感じています。難民の方々と日本人をつなげるイベントを地域で実施したいです。) ④支援基金の設立 ⑤専門相談室の開設							
	吉田 大成	維新	5	5	5	5	3	5	5	
		自由記述	偽装難民の問題への対処							
	笠 ひろふみ	立民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	国際人権機関は、日本の難民保護の在り方に関し、深い懸念を示し、人権侵害と批判しています。立憲民主党は、独立した第三者機関による難民認定・保護を提案し、収容には裁判所の許可を要件とする「難民等保護法案」を提出しました。また、外国人労働者を共に暮らす生活者として受け入れる「多文化共生社会基本法案」も提出済みです。引き続き、民族や国籍などに関するあらゆる差別を解消するため「包括的差別禁止法」の制定と新たな人権救済機関の設置、個人通報制度の導入に向けて尽力します。							
10区	片柳 すずむ	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	市議会議員をしていた2022年に「仮放免」の方の人権保障について、川崎市議会（2022年9月23日・決算審査特別委員会）で取り上げました。具体的には国民健康保険に加入できず医療費が10割負担となる上に、就労が認められていないため、体調が悪くても我慢してしまいさらに病状を悪化させる事例が多い問題を質問しました。全件収容主義を改め入管法の抜本改正を実現するとともに、難民の人権保障に取り組んでいきたいと考えます。							
神奈川	11区	ためそう 稔	共産	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	医療、福祉の現場で43年間働いてきた経験を生かし積極的にとり組みたい。						

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない			問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
	12区	阿部 知子	立民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本の難民認定は非常に厳しく先進国で極端に低い状況です。日本の経済的水準に合わせて認定要件を見直し、認定率のアップに取り組んでいきます。衣食住など生活の保障、就労、日本語学習の保障喫緊の課題です。								
	13区	早川 宇多子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	国際人権法を順守させる。							
		丸田 康一郎	自民	4	3	3	3	3	3	3	3
			自由記述								
	太 栄志	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述									
	14区	中村 圭	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	2023年の入管法の改悪は、日本で暮らす移民や難民の命をさらに危うくするものでした。難民申請に上限を設けるなど、強制送還の対象になる人も出る可能性があります。改悪された箇所を元に戻し、難民の命や人権を守っていく改正を求めています。全国各地で、声を上げていきましょう。							
	15区	佐々木 かつみ	社民	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述								
神奈川	16区	伊左次 美江	維新	5	4	3	3	3	3	4	4
			自由記述								
	山本 みずえ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	今後、勉強し難民の人権・生活を守るために取り組んで行きたいと思います。								
	17区										
			自由記述								
	18区	君嶋 ちか子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本は難民受け入れにおいても後進国であり、「人権」尊重の観点で抜け落ちていきます。最低でも、生活支援を厚くしなければ、生きていくために日本にたどり着いた人たちは、生きていけません。その点から、保護費の拡充が必要です。そのためには内容的な拡充とともに法的根拠を持たせることが不可欠だと思います。							
		宗野 創	立民	4	4	4	4	4	4	4	4
			自由記述	入管施設では、難民を含む外国人に対する身体拘束といった深刻な人権侵害の実態が明らかになっています。また私の地元の川崎でも、地域に住む外国人の方々はヘイトスピーチによる差別に長年苦しんできました。すべての人びとの安心が守られ、個人として尊重されるために、活動に取り組んでまいります。							
	山際 大志郎	自民	4	3	4	3	2	2	4	2	
		自由記述	難民保護については、入管法改正や収容施設改善など国際的な課題に対応しつつ、国際的な貢献ができるような取り組みを進めてまいります								
19区	横関 かつひろ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	どこの国籍をもつ人であっても人間としての尊厳を守る、人権の保障はなされるべきと思います。難民の出る状況、難民についての認識が非常に低い現在を変えていきたい。難民申請をしても待期間が長く、就労支援もおそまつで、安心して自活できることが、大切だと考えます。								
20区											
		自由記述									
新潟	1区	石崎 徹	維新	4	4	4	4	4	4	4	
			自由記述								

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない			問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください	中村 たけお	共産	5	5	5	5	4	4	5	5		
		自由記述										
	西村 智奈美	立民	5	4	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	立憲民主党は、難民を認定・保護する第三者機関の創設を提案する「難民保護・入管法改正案」を国会に提出しました。また、外国人を労働者として、共に日本で暮らす生活者として受け入れるための「多文化共生社会基本法案」を提出しています。民族や国籍などに関するあらゆる差別の解消を目指して取り組みます。									
	2区	井上 基之	維新	5	5	3	3	3	3	3	3	
		自由記述										
	3区											
		自由記述										
	4区	米山 隆一	立民	5	4	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	法務委員会次席理事・委員として、出入国管理及び難民認定法改正案、技能実習法改正案（育成就労法）等の審議や改正案作りに携わってきました									
5区	梅谷 守	立民	5	5	5	5	5	5	5	5		
	自由記述	国際水準の難民認定や人権保護をめざし、引き続き取り組みます										
富山	1区	青山 了介	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	難民認定や入管での対応などでは、国際基準どころか国内の水準からみても、基本的な人権さえ守られないような対応がまだまだ残されています。母国から逃げ出さざるを得なかった人たちに寄り添う姿勢が根本的に足りません。日本共産党はこれまでも、国会などで難民保護の受け入れの遅れなどを指摘し、改善を求めると同時に認定までの生活を支える仕組みづくりを求めてきました。今後は、世界から見ても厳しすぎる難民認定の基準の見直しを求めると同時に、市民社会の中でも困っている人の命を救うという立場で難民問題を考えられるようになるよう、国民の中での議論を広げるために努力したい。									
		あさおか 弘彦	維新	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	過去に、ルワンダ難民の難民認定申請をした際、当時の緒方貞子高専弁務官が、日本はまだ難民を認めてなかったため、彼女の名刺を頂き、何かあった際に提示するように配慮してもらった時は感動した。今後発生するかもしれない台湾有事にも備えるためには、早期の法整備が必要であり重要な課題である。									
		山 登志浩	立民	5	5	5	5	4	4	4	5	
		自由記述										
	2区	泉野 和之	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本共産党は、難民を批判し、排外的政策をとる自民党政治を批判して、難民の人権、民主主義を守る政策をつらぬいてきました。日本の難民認定が少なく、迫害の認定が「命と身体」の危険だとせまく解釈されたり、難民証明が厳しすぎたりする問題点があることを知り、難民の人権保護の問題を今後、強く訴えていきたいと思ます。								
		上田 英俊	自民	5	3	4	3	3	3	3	3	3
			自由記述									
越川 康晴	立民	5	5	5	5	4	4	4	4	5		
	自由記述											
3区	坂本 ひろし	共産	5	5	5	5	5	5	5	5		
	自由記述	ロシアのウクライナ侵略を受け日本に避難してきた人たちの医療費が高額となる問題など、日本共産党は国会質問で難民保護の遅れを指摘し、改善を求めてきた。難民認定まで時間がかかり、就労もできず、その間の生活の場、食事、医療費など生活支援が不可欠であると主張してきました。日本の難民認定が少ない問題で、迫害の認定が「命と身体」の危険と狭く解釈されたり、難民の証明が厳格すぎたりする問題点など、貴協会のホームページで知りました。日本が難民をより積極的に受け入れるという、政治的な意思が十分でないという指摘を受けて、この問題での国への働きかけとともに、市民、国民の中で難民の「人の命を救う」ことの重要性を広めていきたい。										
石川	1区	村田 しげる	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述										
	2区	坂本 ひろし	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない			問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください		自由記述	憲法に立脚して外国人の人権を守り地域社会で共生していけるよう入管法の抜本改正を目指す。難民申請者への生活保障と難民認定者への支援の拡充。この観点からも永住外国人への地方参政権の付与を目指す。							
	3区	南しようじ	共産	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	難民が生まれる根本原因を一掃するため、日本の貢献とくに平和憲法をもつ国にふさわしく、紛争解決のため外交的な役割を發揮し、入管行政と難民審査行政が一体となっているような難民審査体制の改善など法整備を求めます。							
福井	1区	かねもと 幸枝	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	難民保護に関する直接的なアクションとはなっていませんが、入管法改悪などの情勢をとらえ、その問題点などを広く共有してもらおうべく、街頭での訴え、自身に関わる集会などで語り、問いかけを行ってきました。						
	2区	おやなぎ 茂臣	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述							
山梨	1区	そうだ 記史	共産	5	5	5	5	5	5	5
				自由記述						
	2区	大久保 令子	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述							
長野	1区	篠原 孝	立民	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本政府は難民をはじめとする立場の弱い人たちに冷たい態度をとり続けています。戦後満州に取り残された孤児のうち帰国された方たちの対応を見れば、立場に寄り添った温かい支援など皆無と言えるでしょう。弱い立場にある人たちに寄り添うのは政治の責任です。						
	2区	下条 みつ	立民	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	国際人権機関より、日本の極端に低い難民認定率に深刻な懸念を示し、司法審査をしないで身体拘束や無期限収容を国際法違反の人権侵害だと批判しています。「難民等保護法案・入管法等改正案」で政府から独立して難民を認定、保護する第三者機関の創設を提案し、収容に当たっては裁判所の許可を要件とし、また「多文化共生社会基本法案」において外国人を労働者として、日本で共に暮らす生活者として受け入れるとともに円滑に生活できるよう、それぞれ議員立法を提出してきました。民族や国籍等のあらゆる差別の解消を目指す、「包括的差別禁止法」を制定し、また政府から独立した人権救済機関の設置、個人通報制度を導入に向け頑張っておりま						
	3区									
	4区	たけだ 良介	共産	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	本アンケート含め、皆さんの日ごろからの取り組みに敬意を表します。ご存じの通り、日本共産党は難民支援や外国人の人権擁護にかかわるすべての団体個人のみならずと協力し、国会内外で行動してきました。入管法をはじめ、在日訪日問わず外国人を人権を侵している（侵す恐れのある）法律を、国際法や日本国憲法の精神に則った方向で変えていく、また立法していくことを本選挙の公約にも掲げていますし、選挙後も皆さんとともに国会内外で行動していきたいと思ひます。ともに頑張りましょう							
	5区	後藤 そういち	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述							
		福田 淳太	立民	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	国際人権機関などは、日本の極端に低い難民認定率に深刻な懸念を示すとともに、司法審査を経ない身体拘束や無期限収容を国際法違反の人権侵害だと批判しています。立憲民主党が提出した議員立法「難民等保護法案・入管法等改正案」では、出入国を規制する入管庁ではなく、政府から独立して難民を認定・保護する第三者機関の創設を提案し、収容に当たっては裁判所の許可を要件としました。また、外国人労働者として、日本で共に暮らす生活者として受け入れ、ともに円滑に生活するための議員立法「多文化共生社会基本法案」もすでに提出しています。引き続き、民族や国籍などに関するあらゆる差別の解消を目指して、「包括的差別禁止法」を制定し、新たな人権救済機関を設置するとともに、個人通報制度を導入するため、立憲民主党は全力をあげてまいります。						
岐阜	1区	野田 聖子	自民	5		4	5	3	4	4
				自由記述						
	2区	三尾圭司	共産	5	5	5	5	5	5	5

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、 3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管行から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
	自由記述	ウシユマさんの事件に心痛めています。日本の出入国管理は鎖国時代か！と思います。									
	3区										
	自由記述										
	4区	金子 俊平	自民	4	4	4	4	4	4	4	
	自由記述	「難民」とひとことで言っても、たくさんの複合的状況や問題があります。日本が国際社会の平和に貢献する事は自国の安全保障上の観点から見ても今や不可欠であり被災民への支援はそのためにわが国が取れる大切な手段の一つであると認識しています。									
	5区	まの さとし	立民	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	「難民鎖国」「収容主義」による人権侵害の状況を変えるためには、権威主義的な自民党政治を終わらせ、「市民が主役」の新しい政府が責任ある変革を担わなければならないと考えます。私もその一員として、皆さまと共に人権問題に向き合ってまいります。									
静岡	1区	鈴木 せつ子	共産	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	難民の人権を守り、地域社会で共生できるようとりくみたい。 前提として、難民を生んでいる紛争にたいし日本は人道的平和的貢献を抜本的に強める。 難民に「迫害を受けるおそれ」の客観的立証をもとめることを改善する。 不十分な生活保障を見直し人間らしく生きられるようにする。 認定と出入国管理を分離して審査する体制にする。 これら必要な法改正にとりくみたい。									
		高橋 みほ	立民	5	5	4	5	5	5	5	
	自由記述										
	2区	鈴木 たけゆき	立民	5	5	5	5	5	3	5	
自由記述	今まで直接的に活動してきたことはありませんでしたが、政治は弱い立場の人のためにあるという観点から、しっかりとした保護と支援が必要であることは当然と考えています。 国際法の理念から見れば、難民はその身分を保障されるはずであるのに、日本では難民申請期間中でさえも不法入国者として全件収容が原則となっていたり、難民条約締約国としての責務を果たしているとは言いがたい。難民認定率も低すぎる。これでは人道上の責任を果たしているとは言えない。 条約締約国の一つとして、そして責任ある先進国の一員として、人間の安全保障の観点からも他の国と同じように適切な難民の保護、支援を行うべきと考える。										
	3区	小山 展弘	立民	4	4	4	4	4	4	5	
	自由記述										
	4区	田中 けん	国民	5	4	4	4	5	5	3	4
	自由記述	超党派の人権外交議員連盟に参加し活動中しています。難民を認定し受け入れと保護を公正にする第三者機関が必要であり、設立に向けて取り組みたい。									
	5区	下山 かずみ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	入管法の抜本改正にとりくむ。 外国人への非人間的とりあつかいや認定率が低すぎるしくみを正す。 短期在留資格の就労許可の拡大や申請者の生活支援を十分なものにしていく。 そもそも難民を生む紛争に日本はもっと積極的に平和貢献をすべきだ。名古屋入管での死亡事件が2度とおこらないよう難民行政をせめて世界に誇れるようにしたい。									
静岡	6区	渡辺 周	立民	5	5	5	5	5	5	3	5
	自由記述	香港での政府の批判的な活動を取り締まる「香港国家安全維持法」の施行後、香港人の方々は自由と民主主義に苦勞されています。 香港に限らず、政治的、体制的圧力で国を追われる人々を救う必要があります。 さらに、国民がこの問題に関心を持つことが重要です。 国会での議論を活発にし、香港、ミャンマー、ウイグル、など日本でできる支援のあり方などについて議論していきます。 これまで国内での議論が低調なのは自公政権の外交能力の限界を示しています。 政権交代し、国際貢献に尽力していきます。									
	7区	日吉 雄太	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述										
		吉川 なおこ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない			問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
	8区	源馬 謙太郎	自由記述	ウィシュマさんの事件には本当に心が痛みました。あまりにもひどい日本の入管法を改正するためにがんばりたい。難民認定を本人の実情にみあった、人権を守るものにする。申請者が安心してらせるようにすること。できるだけ早期に手続きがすすむようにする。紛争や迫害を日本として9条にもとづいてなくす努力は不可欠だ。							
		自由記述	5	5	4	5	5	4	4	5	
	ひらが 高成	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	難民申請者の人権を守り、安心できる暮らしを保障することが大事だ。紛争や迫害からのがれてきた人を人間らしく、あたたかくむかえる姿勢が日本政府には欠けている。これを正す。入管法をそうした方向に改正することが不可欠だ。認定審査と出入国管理を入管管理局が両方かかっていることも改正する。								
愛知	1区	くまだ 裕通	自民	5	3	4	2	1	3	3	
		自由記述									
	吉田 統彦	立民	5	5	4	4	3	4	5	5	
		自由記述	陳情を受けて難民認定に関し状況確認などのお手伝いをしたほか、改正入管法の審議に対し、難民の方々の権利保護が図られるように党の部会などで発言をしてきました。								
	2区	酒井 ケンタロー	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	私自身は、地元名古屋でのウィシュマさんの事件や近年の市民有志の方々の取り組みを通じて、問題とその深刻さを明確に認識することができました。入管行政の戦前からの継続性や深刻な人権侵害などの問題点を、現行憲法の理念にもとづいて、解決していくために力をつくしたいと考えています。								
	3区	近藤 昭一	立民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	立憲民主党難民問題に関する議員懇談会の役員として、名古屋入管でのウィシュマさん死亡事件の真相究明などに取り組んできた。								
	4区	高橋 ゆうすけ	共産	5	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	現在の入管法制の人権侵害や隠ぺい体質などは、戦前は治安維持の取り締まりの対象として、戦後は現憲法施行前の米軍占領下で取締り法的な規定が盛り込まれていたことにあります。名古屋入管でのウィシュマさんの事件をはじめ命と人権を脅かす行為を二度と繰り返さないために現憲法の精神に基づいて入管法を根本から改める必要があります。							
		牧 義夫	立民	5	5	4	4	3	4	3	5
			自由記述								
5区	江上 博之	共産	5	5	5	5	5	5	5		
		自由記述	入管法制のひどい対応は、戦前の治安維持法の取り締まりを対象としている時代と変わりません。戦後は、アメリカ占領下での取り締まりを反映しています。現在の日本国憲法の精神に基づいて入管法を改めていくよう努めます。								
	岬 麻紀	維新	5	5	5	5	3	5	5		
自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする偽装難民の問題も併せて対処すべきと考えている。										
愛知	6区	大西 雅人	社民	5	5	5	5	5	5		
		自由記述	日本は排外主義的、人種（外国人）差別的な傾向が強く、政策的にもそれが現れています。特に難民は同じ人としてのあつかいも否定しているように思います。勉強しながら、取りくんでいきます。								
	原田 学	共産	5	5	5	5	5	5	5		
		自由記述	名古屋入管のウィシュマさんの事件などを二度と繰り返さないために、憲法の精神に基づいて、命と人権を守るために入管法をはじめ関連法を含む難民に関する関連法の改正が必要である								
	7区	鈴木 弘一	共産	5	5	5	5	5	5	5	
			自由記述								
8区	伊藤 忠彦	自民	4	4	4	4	4	4	4		

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
	自由記述									
		古川 ひろあき	共産	5	5	5	5	5	5	5
	9区	伊藤 恵子	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	現在の入管法制の人権侵害や隠ぺい体質などは、人権侵害の大問題です。名古屋入管でのウィシュマさんの事件をはじめ、命と人権を脅かす行為を二度と繰り返さないために現憲法の精神に基づいて入管法を根本から改める必要があります。						
10区										
愛知	11区									
		自由記述								
	12区	中川 ひろと	維新	5	5	5	5	3	5	5
			自由記述							
	13区	牛田 清博	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	現在の入管法制の人権侵害や隠ぺい体質などは、戦前は治安維持の対象に、戦後は米軍の占領下で取り締まりの強い法的な規定が盛り込まれたことにあります。名古屋入管でのウィシュマ・サンダマリさんの事件をはじめ、命と人権を脅かす行為を二度と繰り返してはなりません。その為、入管法を現憲法の精神に基づいて根本から改める必要があります。 私個人としては、名古屋市にある「アジア・ボランティア・ネットワーク愛知」の事務局長として、多文化共生などの取り組みもしてきました。（2019年まで）最近では難民支援室と連携して物資支援などの活動に広がっています。						
	14区	浅尾 大輔	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	2021年3月6日、名古屋入管でスリランカ人女性ウィシュマさんが苦しみながら亡くなった事件は、私に「難民とは何か」という問いを突きつけるともに、現在の入管法制の問題点を教えることとなりました。在留資格のない外国人に対する長期かつ恣意的な収容と人権侵害的なあつかいは是正する必要があると考えます。とくに医療的なケアの充実や入管職員の人権教育は、一刻も早く実施すべき課題です。						
		おおたけりえ	立民	5	5	4	4	4	5	3
	15区	小山 ちほ	立民	5	5	5	5	5	5	5
自由記述			国際人権機関などは、日本の極端に低い難民認定率に深刻な懸念を示すとともに、司法検査を経ない身体拘束や無期限収容を国際法違反の人権侵害だと批判しています。立憲民主党が提出した議員立法「難民等保護法案・入管法改正案」では、出入国を規制する入管庁ではなく、政府からは独立した第三者機関を設立し、難民の認定・保護することを提案しています。さらに、収容に当たっては、裁判所の許可を要件としています。また、外国人を労働者として、日本で暮らす生活者として受け入れ、ともに円滑に生活できるようにするため、議員立法「多文化共生社会基本法」を、すでに提出しています。引き続き、民族や国籍などに関する差別の解消を目指して、「包括的差別禁止法」を制定し、新たな人権救済機関を設置するとともに、個人通報制度を導入するため、立憲民主党は全力をあげてまいります。							
高木 繁		共産	5	5	5	5	5	5	5	
愛知	16区	松崎 省三	共産	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	現在の入管法制の人権侵害や隠ぺい体質などは、戦前は治安維持の取り締まりの対象として、戦後は現憲法施行前の米軍占領下で取り締り法的な規定が盛り込まれていたことにあります。名古屋入管でのウィシュマさんの事件をはじめ命と人権を脅かす行為を二度と繰り返さないために現憲法の精神に基づいて入管法を根本から改める必要があります。						

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
三重	1区	出口 洋介	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	今後、難民の問題をさらに国民と共有して取り組みたい								
		福森 和歌子	立民	5	5	4	4	3	4	3	4
		自由記述									
	2区	山本 りか	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	難民の保護にむけて、さらに、学習や宣伝で、国民の問題として共有していく							
	3区	伊藤 昌志	維新	5	5	4	5	4	4	5	5
			自由記述								
	4区	中川 たみひで	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	難民問題への支援を強化し、さらに国民の問題として共有していく							
		青沼 陽一郎	立民	5	5	5	5	4	4	3	4
			自由記述								
滋賀	1区	大岡 敏孝	自民	5	4	5	5	4	4	5	
			自由記述	超党派の人権外交議員連盟の一員として活動してきました。国際的な人権保護に向けて活動を進めます。							
		きのせ 明子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述								
		斎藤 アレックス	維新	5	5	5	5	3	5	5	5
			自由記述								
	2区	とくなが 久志	維新	5	5	5	5	3	5	5	5
			自由記述	難民の生活人権を守りつつ、労働目的の申請への対応も考慮すべき							
		平尾 みちお	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	政府から独立した第三者機関である「難民等保護委員会」の創設が必要であると考えている。							
	3区	佐藤 こうへい	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述								
京都	1区	井坂 博文	共産	5	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	入管法改悪に反対							
		平竹 耕三	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	難民条約や国際人権規約等に基づいて、保護すべき難民申請者や補完的保護対象者等を適切に保護できる制度を確立するため、政府から独立した第三者機関の創設等を柱とする「難民等保護法・入管法等改正法」の制定を目指す。							
	2区	堀川 あきこ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	これまではUNHCRへの募金でしか難民支援に関われていません。しかし、この間社会的にも明らかになっているように、日本は難民の人権と尊厳を保障するという現状とは程遠いという危機感を強めています。難民認定制度を抜本的に改革し、保護と共生を実現させるために、当事者や貴団体のような関係団体とも連携して取り組んでいきたいです。							
		泉 健太	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	これまで、立憲民主党代表として、国際基準に照らした難民認定、運用の改善を求めてきました。今後も、人権が守られる国を目指し、とりくみます。皆様の活動に敬意を表します。							
西山 のぶひで	共産	5	5	5	5	5	5	5	5		

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください	自由記述	国際社会からの要請に答え、日本も難民問題で積極的な役割を果たす。難民認定が極端に少ない、難民申請者の生活保障が不十分、難民認定者の支援も不十分など、日本政府の難民認定のあり方を抜本的に改善するよう求めます。							
	4区 吉田 幸一（※3）	共産	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	そもそも、日本の難民認定制度は、難民認定者が極めて少なく、難民「送還ありき」で審査数をこなしています。そのさなかの今年6月、改悪入管法が施行され、名古屋入管で亡くなったウィシュマンさん事件をきっかけに廃案においこまれた（案）とほぼ同じです。入管行政と難民認定審査を大本から見直す運動と世論をさらに強めていきたいと考えます。							
	5区 道本 たかや	維新	5	5	5	5	3	5	5
	自由記述								
	山内 健	共産	5	5	5	5	5	5	5
自由記述	難民問題に日本政府は先進国として積極的な役割を果たすよう求めます。日本政府の難民認定のあり方を抜本的に改善、難民認定者の生活保障と支援の強化を進めたい。								
京都	6区 かみじょう 亮一	共産	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	日本共産党は入管法の2023年改定と2024年改定に反対。難民として保護を求める外国人を「送還回避」と決めつけて強制送還することは国際人権法違反だ。永住者資格の取り消しは、外国人の地位を著しく不安定にする。外国人の人権を保障する入管行政にあらためるべき。							
	園崎 弘道	自民	4	3	3	2	2	4	3
	自由記述								
大阪	1区 井上 英孝	維新	5	5	5	5	3	5	5
	自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする偽装難民の問題もあわせて対処すべきと考えています。							
	大西 宏幸	自民	4	4	4	3	3	4	3
	自由記述	ウクライナ難民への支援は行っており、今後も、個々のケースに応じた支援を行っていききたいと考える。							
	竹内 祥倫	共産	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	入管法改悪反対の市民運動にこの間少し参加。大阪中央区で仮放免の方へ支援をされている方をおまねきし学習会を行ったこともあります。日本は難民認定があまりにも低く、役割を果たしていません。人権侵害と暴力が横行する入管の現状を改めさせる。							
	2区 小川 陽太	共産	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	難民の認定率が飛び抜けて低い。改善が必要。独立した機関を設けて、出入国管理と難民保護の機関を分離して、人道に基づいた体制にすることが必要です。							
	守島 正	維新	5	5	5	5	3	5	5
	自由記述								
	3区 東 徹	維新	5	5	5	5	3	5	5
	自由記述	労働を目的として入国し難民申請をするといった偽装難民の問題も、あわせて対処すべきと考えている							
わたなべ 結	共産	5	5	5	5	5	5	5	
自由記述	外国人への非人間的な扱いなど現行入管制度の欠陥は重大です。日本国憲法の精神に基づいて外国人の人権を守り、地域社会で共生していける入管法へ抜本的な改正を求めています。								
4区 清水 忠史	共産	5	5	5	5	5	5	5	
自由記述	以前、出入国管理及び難民認定法の質疑に立ちました。日本の難民認定率は0.3%と極めて低く、在留資格を失った外国人については裁判所の審査もなくすべて入管に収容しています。医療や食事など十分に受けられず、死亡事件が発生するなど社会問題になりました。難民認定申請中でも送還を可能とする現在の入管法は改定すべきです。								
中山 泰秀	自民	5	3	3	3	3	3	3	
自由記述									
5区 宮本 岳志	共産	5	5	5	5	5	5	5	

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください		<p>日本は先進国として、もっと積極的に難民保護に乗り出すべきです。</p> <p>私の所属する文部科学委員会の範疇で答えさせていただければ、日本語留学生制度について問題意識を持っています。ご存じのように昨年の5月に日本語教育機関法案について国会で質問をしましたが、名古屋入管収容中に死亡したウィシュマさんもこの制度をもちいて日本にきました。スリランカで語学学校を開きたいという夢を持って来日、同居する男性からの暴力により学校を休みがちになり除籍処分。暴力に耐えかねて、交番に駆け込んだところ留資格が切れていたことから名古屋入館に収容されることとなり、いたましく、おぞましい行為により、命を落とすことになりました。彼女は難民申請をしており、本来であれば難民として保護されなければならなかったと考えます。</p> <p>日本語学校が「留学生」といういで、労基法範疇外の労働力として搾取する、日本での生活に寄り添わない姿勢が、名古屋入管の非道とともに問われなければなりません。</p> <p>現行の日本語学校の最大の問題は、その大半が、受け入れた多くの留学生を安い労働力として利用することと一体に運営されていることです。留学生の多くは、留学開始前から渡航費やあつせん手数料など百万円以上の借金返済を抱え、学費や生活費、母国への仕送りのためにアルバイトに追われるなど、留学とはほど遠い実態にあります。しかも、法務省告示機関のうち、営利目的の株式会社などが6割以上を占め、中には、学校の理事長自身が人材派遣会社を営営し、留学生からパスポートを没収し、週28時間以上働かせ、不当に高い家賃を徴収するなど、外国人ビジネス、留学生搾取と言える悪質な事例も数多くあります。こうした実態にメスを入れ、悪質な日本語学校を排除、規制するなど、留学生を搾取する構造そのものを変えることが求められています。</p>									
大阪	6区	わたし 考一	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本で暮らすことでどういうことに悩んでいるのか、どうしたいのかよく聞き、人として尊厳が大切にされるようにしていきたい。それが日本社会にとって、優しい社会へつなげることにもなるため。								
	7区	奥下 剛光	維新	5	5	4	4	2	3	4	4
		自由記述	移民法、少子化等の問題も併せて、ゼロベースで見直し組み立て直していくべきだと考える								
	川添 健真	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本で起こっている入管での人権侵害は絶対に許されません。基本的人権が守られ、安心、安全に過ごせるように手だてをとっていくべきであると考えます。								
	8区	平川 せつよ	共産		5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本で暮らす難民の保護に向けて上記の設問にもあるように、人権を重視した取り組みや条例の制定にむけて頑張っていきたい。							
	9区	東田 じゅんべい	自民	4	3	3	3	3	3	3	4
			自由記述								
10区	池下 卓	維新	5	5	5	5	3	5	5	5	
		自由記述	真に保護が必要な難民と偽装難民を区別するための対応を強化し、保護が必要な難民には、支援体制を充実させていくべきです。								
	尾辻 かな子	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	
自由記述	日本に暮らす難民の方を含め「誰も置き去りにしない社会」を作ります。収容上限を明記するなど、出入国管理及び難民認定法の改正や第三者機関の設置の実現に向け、取り組んでいきたい。また、広くNPO支援の制度の充実も図りたい。										
大阪	11区	北尾 学	共産	5	5	5	5	5	5	5	
			自由記述								
	12区		自由記述								
			自由記述								
	13区	岩谷 良平	維新	5	5	5	5	3	5	5	5
			自由記述	労働を目的として入国し、難民申請する偽装難民の問題もあわせて対処すべきと考えます。							
		たからい てるみ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	協会の皆様の活動に敬意を表します。これまで、あまりかかわったことのない問題ですが、ウィシュマさんの事件の報道には心を痛めていました。これから、勉強していき、微力を尽くしたいと思います。									
14区	青柳 仁士	維新	5	5	5	5	3	5	5	5	

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
	内藤 こういち	自由記述	難民の保護のみならず、偽装難民の問題についても併せて議論することが必要と考えます。								
		共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	日本政府の難民認定のありかたを抜本的に改善し、難民申請されている方の人権が保障されるようにする。ウィシュマさんのような悲劇を二度と起こさないように全ての人の人権を保障するよう改善させていきたい。「難民」の定義を極端に狭くしている認定を改善する事。入管行政と難民審査行政が一体となっているような難民審査体制の改正を含めた法制度の整備を急ぎます。難民申請者の生活保障と難民認定者への支援を拡充。									
	15区	浦野 靖人	維新	5	5	5	5	3	5	5	5
	仲川 まなぶ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	偽装難民の対応と称して、難民申請者の0.3%しか受け入れない今の政府の姿勢には大きな疑問が生じる。本当に受け入れを求めている難民の救済を実施することこそが、世界からの信用を得ることになるのではないかと。難民であっても、一人の人間として尊重されることが何よりも重要								
大阪	16区	森山 浩行	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	学生時代、カンボジアでUNHCRやAAR（難民を助ける会）と一緒に活動して以来、関心が高いです。国際人権機関などは、日本の極端に低い難民認定率に深刻な懸念を示すとともに、司法審査を経ない身体拘束や無期限収容を国際法違反の人権侵害だと批判しています。立憲民主党が提出した議員立法「難民等保護法案・入管法等改正案」では、出入国を規制する入管庁ではなく、政府から独立して難民を認定・保護する第三者機関の創設を提案し、収容に当たっては裁判所の許可を要件としました。また、外国人を労働者として、日本で共に暮らす生活者として受け入れ、ともに円滑に生活するための議員立法「多文化共生社会基本法案」もすでに提出しています。引き続き、民族や国籍などに関するあらゆる差別の解消を目指して、「包括的差別禁止法」を制定し、新たな人権救済機関を設置するとともに、個人通報制度を導入するため、立憲民主党は全力をあげてまいります。								
	17区	沢田 くみこ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	日本も先進国として、難民の受け入れを適切におこなうなど、積極的に役割を果たすべき。難民が生まれる根本原因である紛争解決にむけても、外交的役割を發揮するよう求める。支援を求める外国人を、尊厳ある人間として受け入れ、共に生きられる制度をつくり、難民申請者の生活保障と難民認定者への支援を拡充するために運動を拡げていきたい。								
	馬場 伸幸	維新	5	5	5	5	3	5	5	5	5
		自由記述									
18区	馬場 ひでき	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	これまでに難民の保護に関しての取り組みはありません。今後身近に関わることがあれば、難民保護の活動にも取り組みたいと思います。								
19区	北村 みき	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	難民申請中の外国人の友人一家を家族ぐるみでサポートしてきました。入国管理局の非人道的な現制度を早急に改め、難民保護に関する法律の制定に尽力します。同じ人間として尊厳を持って安心して暮らせる国、日本を作りたいです。								
兵庫	1区	藤末 浩美	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	日本の難民認定制度では、難民と認定すべき外国人が排斥されており抜本的に改革すべき。出入国管理と難民保護機関の分離や独立した難民等保護委員会の設置が必須。入管法の抜本改正など、外国ルーツの人たちを尊厳ある人間として受け入れ共に生きる制度をつくるために力を尽くしたい。								
	一谷 勇一郎	維新	5	5	5	5	3	5	5	5	
	自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする偽装難民の問題もあわせて対処すべきと考えている。									
2区	たけうち ゆみこ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本の難民認定制度では、難民と認定すべき外国人の人権が守られているとはいいがたく、保護されるべき立場にあるはずの外国人の人権が守られていないのではないかと。入管法の抜本改正も必要で、国や社会が意思をもって、外国人の人権を守り、受け入れ、共に生きる日本社会となるように働きかけたい。								
3区	かとう けんじ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述									
4区	赤木 正幸	維新	5	5	5	5	3	5	5	5	

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
	自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする偽装難民の問題も併せて対処すべきと考えている。								
	5区	自由記述								
兵庫	6区	桜井 シュウ	立民	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	立憲民主党は多文化共生社会実現基本法案を国会に提出し、制定を目指しています。							
	吉見 秋彦	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	日本には難民に対する差別的な状況が残されており、他国と様子が変わっている。出入国管理や難民保護機関の分離や独立した難民保護委員会の設置が必須。出入国管理法も戦前の人権感覚が残っているなど、入ってくる外国人に対する感覚がアップデートできていない。人種や文化など多様な価値観をさらに共有して法制度の刷新を図りたい。							
	7区	上田 さち子	共産	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	現状をいっそう認識し、改善のために努力したい。							
	岡田 さとる	立民	5	4	4	5	5	5	5	5
		自由記述	週刊ダイヤモンド記者としてダイヤモンド・オンラインに日本ウイグル協会のレテブ・アフメット副会長の寄稿を掲載し、日本企業によるウイグル人の不当な労働への関与のあり方を取り上げた。 https://diamond.jp/articles/-/276830 今後は日本が諸外国並みに難民を認定し、基本的人権を守ることができる十分な受け入れ体制が実現するよう、法整備や国民の理解増進に取り組みたい。							
	8区	こむら 潤	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本の難民認定制度では、難民と認定すべき外国人が排斥されており抜本的に改革すべき。出入国管理と難民保護機関の分離や独立した難民等保護委員会の設置が必須。入管法の抜本改正など、外国ルーツの人たちを尊厳ある人間として受け入れ共に生きる制度をつくるために力を尽くしたい。						
徳安 淳子	維新	5	3	3	4	4	4	4	5	
	自由記述									
9区	高田 良信（※4）	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	難民と認定すべき外国人が排除されている難民認定制度は、抜本的に改革し、外国ルーツの人たちを尊厳ある人間として受け入れ、共に生きる制度をつくるために尽力したい。 ドイツ国のやってきたように、かつて近隣の国に侵略を行った反省と、大戦中の亡命者受け入れの恩返しとして、難民にやさしい日本国に出来たらよいなあと感じています。							
10区	おき 圭子	立民	5	5	5	5	5	5	4	
		自由記述	難民に限らず困っている人に寄り添い、相談に乗ったり、対応してきました。所属のNPOで人権問題についても考えてきました。難民の保護に向けて、諸外国の事例や国民世論の動向、旧宗主国の責任など勉強させていただきたいと思っております。							
	渡海 紀三朗	自民	4	4	4	3	3	4	4	3
		自由記述								
	ほりい けんじ	維新	5	5	5	5		5	5	5
		自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする擬装難民の問題もあわせて対処すべきと考えている。							
吉田 くみこ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
自由記述	現在の制度では認定されるべきだと思われるひとも排除されていると思う									
兵庫	11区	苦瓜 かずしげ	共産	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	日本の難民認定状況の改善を早急に行いたい。							
12区	太田 清幸	共産	5	5	5	5	5	5	5	

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
	自由記述	日本の難民認定制度では難民と認定すべき外国人が排斥されており抜本的に改革すべきです。出入国管理と難民保護機関の分離や独立した難民等保護委員会の設置が必要です。入管法の抜本改正など、外国ルーツの人たちが尊厳ある人間として受け入れ、共に生きる制度を作るために力を尽くしたい。								
奈良	1区	井上 良子	共産	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	しんぶん赤旗記者の時代に、難民保護の取り組みを取材したことがあります。23年の入管法改悪の採決で日本共産党は、外国人に対する「差別と排斥の歴史を終わらせ、保護と共生へ」「つないだ手を絶対に離さない」と決意を表明しました。私、井上良子も、あらゆる人々の人権を保障するために奮闘する決意です。							
		高野 あつし	維新	5	5	5	5	3	5	5
		自由記述								
		馬淵 澄夫	立民	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述								
2区	池田 えい子	共産	5	5	5	5	5	5	5	
自由記述	私の地元斑鳩町でも、外国人労働者が増えています。職場や地域での差別に関する相談が日本共産党に寄せられており、人権保障の取り組みは急務です。私、池田えい子は、あらゆる人の人権が保障される社会の実現へ、いっそう奮闘する決意です。									
3区	太田 敦	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	私は県議会議員の時代に、日本ベトナム友好議員連盟の活動を通じて、奈良で暮らす外国人労働者の相談活動などに尽力して参りました。支援を求める外国人は増加の一途なのに、日本の入管行政は外国人、特に難民に対してU N H C Rからも厳しすぎると非難される政策をすすめています。こうした政治の流れを変え、あらゆる人々の人権が大切にされる社会をめざし、頑張りたいと思います。							
	原山 大亮	維新	5	5	5	5	3	5	5	
自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする偽装難民の問題についてもあわせて対処すべきと考えています									
和歌山	1区	井本 有一	共産	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	日本の難民認定制度は、貴協会のサイトが示されているように、世界に類をみない厳しいもので、認定数が極端に少ない状況です。難民の定義をあまりにも狭く解釈していること、難民認定行政と出入国管理行政が分離されていないことが要因です。また、難民申請者の国保加入や生活保護受給が認められない、就労に制約があるなど生活保障が不十分であり、認定者への支援も不十分な状態に置かれています。日本共産党は、難民条約、国連難民高等弁務官事務所の基準など国際人権法を順守し、法務省から独立した難民認定機関の設置など抜本的な入管法改正、入管庁改革を行います。長期収容に上限を設定し、人身拘束は必ず司法審査を行います。難民認定申請中の強制送還を可能とする改悪は無効化し、永住権取り消し規定を削除します。柔軟な在留特別許可制度のもとで短期在留資格における就労許可を拡大し、難民申請者などが在留資格を求める外国人への生活支援制度を設けます。							
		林 ゆみ	維新	5	5	3	3	3	4	4
		自由記述								
	2区	楠本 文郎	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本の難民認定制度は、貴協会のサイトが示されているように、世界に類をみない厳しいもので、認定数が極端に少ない状況です。難民の定義をあまりにも狭く解釈していること、難民認定行政と出入国管理行政が分離されていないことが要因です。また、難民申請者の国保加入や生活保護受給が認められない、就労に制約があるなど生活保障が不十分であり、認定者への支援も不十分な状態に置かれています。日本共産党は、難民条約、国連難民高等弁務官事務所の基準など国際人権法を順守し、法務省から独立した難民認定機関の設置など抜本的な入管法改正、入管庁改革を行います。長期収容に上限を設定し、人身拘束は必ず司法審査を行います。難民認定申請中の強制送還を可能とする改悪は無効化し、永住権取り消し規定を削除します。柔軟な在留特別許可制度のもとで短期在留資格における就労許可を拡大し、難民申請者などが在留資格を求める外国人への生活支援制度を設けます。						
新古 祐子		立民	5	5	5	5	5	5	5	
自由記述										
鳥取	1区	あさくら 浩之	立民	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	難民が安心して日本での生活を送れるよう、さらに一歩進んだ保護体制の構築を進めるべき。特に、住居支援や医療アクセスの向上、難民が抱える不安や孤立感を解消するためのコミュニティ支援を強化する必要があると思う。また、地方都市にも難民受け入れの仕組みを広げ、地域の活性化と難民の生活基盤の安定を両立させる方策を模索したい。							
	2区	福住 ひであき	共産	5	5	5	5	5	5	
自由記述	難民の定義をせまく解釈している認定を改善していきたい。									

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
	湯原 俊二	立民	5	5	5	5	5	5	5		
	自由記述	立憲民主党は「難民等保護法・入管法等改正案」を提出しました。また「多文化共生社会基本法案」も提出しています。今後も全ての人の人権保護のために、取り組みます。									
島根	1区	亀井 亜紀子	立民	5	5	4	5	4	4	4	
		自由記述	外国人労働者を安い労働力として受け入れ拡大するよりも、日本で難民申請している人々を受け入れ、仕事を提供する方が良いと考えています。								
	村瀬 江利子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本国憲法に立脚して、外国人の人権を守り、地域社会で共生していける入管法への抜本的な改善を求めています。								
	2区	大塚 さとこ	立民	5	4	5	5	5	4	4	4
		自由記述									
亀谷 ゆう子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5		
自由記述	「難民」の定義を極端に狭くしている認定の改善や、難民申請者の生活保障と難民認定者への支援を拡充していきたいと考えています。										
岡山	1区	逢沢 一郎	自民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	今後もUNHCR議連会長として難民の国内における問題の解決、よりよい状況の実現に全力を尽くします。世界はほんとうに醜い事態です。人道支援強化に努めます。難民が生まれない理想の世界を求めて。								
		すみより 聡美	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	日本国憲法に立脚して、外国人の人権を守り、地域社会で共生していける入管法への抜本的な改正を求めます。 1 法務省の判断で外国人を収容することができる全件収容主義を改め、収容には司法判断を必須とし、収容期限に上限を設けます。入管施設に収容されている者を仮放免できる制度を拡大します。 2 出入国在留管理庁から難民行政を切り離し、独立した難民等保護委員会を新設します。現在の難民認定審査の在り方を、事案の実情に即した適切な判断を行うものへと大きく変えます。 3 外国人個々の事情を考慮し、柔軟な在留特別許可制度にします。短期在留資格における就労許可を拡大します。難民申請者などが在留資格を求め外国人に対する、生活支援制度を設けます。								
	原田 ケンスケ	立民	5	5	5	5	5	4	5	5	
	自由記述	難民の保護に向けて、多くの方々のご協力のもと、募金活動を行ってきました。皆さまからお預かりした募金を国連UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）協会を通じて、難民支援に活用させていただきました。難民の方々が安心して暮らせる環境を提供するためのさらなる支援を行いたいと考えています。仕事、日本語教育、子どもの母語教育、などのささやが必要で。									
2区	津村 啓介	立民	5	5	4	5	4	5	5	5	
	自由記述										
余江 ゆきお	共産	5	5	5	5	5	5	5	5		
	自由記述	日本国憲法に立脚して、外国人の人権を守り、地域社会で共生していける入管法への抜本的な改正を求めます。 1 法務省の判断で外国人を収容することができる全件収容主義を改め、収容には司法判断を必須とし、収容期限に上限を設けます。入管施設に収容されている者を仮放免できる制度を拡大します。 2 出入国在留管理庁から難民行政を切り離し、独立した難民等保護委員会を新設します。現在の難民認定審査の在り方を、事案の実情に即した適切な判断を行うものへと大きく変えます。 3 外国人個々の事情を考慮し、柔軟な在留特別許可制度にします。短期在留資格における就労許可を拡大します。難民申請者などが在留資格を求め外国人に対する、生活支援制度を設けます。									
3区	原田 あき子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	日本国憲法に立脚して、外国人の人権を守り、地域社会で共生していける入管法への抜本的な改正を求めます。 1 法務省の判断で外国人を収容することができる全件収容主義を改め、収容には司法判断を必須とし、収容期限に上限を設けます。入管施設に収容されている者を仮放免できる制度を拡大します。 2 出入国在留管理庁から難民行政を切り離し、独立した難民等保護委員会を新設します。現在の難民認定審査の在り方を、事案の実情に即した適切な判断を行うものへと大きく変えます。 3 外国人個々の事情を考慮し、柔軟な在留特別許可制度にします。短期在留資格における就労許可を拡大します。難民申請者などが在留資格を求め外国人に対する、生活支援制度を設けます。								
4区	垣内 雄一	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない			問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください			自由記述 日本国憲法に立脚して、外国人の人権を守り、地域社会で共生していける入管法への抜本的な改正を求めます。 1 法務省の判断で外国人を収容することができる全件収容主義を改め、収容には司法判断を必須とし、収容期限に上限を設けます。入管施設に収容されている者を仮放免できる制度を拡大します。 2 出入国在留管理庁から難民行政を切り離し、独立した難民等保護委員会を新設します。現在の難民認定審査の在り方を、事案の実情に即した適切な判断を行うものへと大きく変えます。 3 外国人個々の事情を考慮し、柔軟な在留特別許可制度にします。短期在留資格における就労許可を拡大します。難民申請者などが在留資格を求める外国人に対する、生活支援制度を設けます。								
広島	1区	中原 剛	共産	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	難民と認定すべき外国人が排斥されています。さらに、この法律を岸田文雄政権は改悪し、永住者資格取り消し制度の導入、技能実習制度の育成就労制度への看板掛け替えなどを行いました。外国人の人権問題は焦眉の課題と考えます。2023年に野党が共同提出した難民等保護法案を早期に成立させ国際的にあるべき難民認定制度の実現に頑張ります。								
		平本 浩一	立民	5	5	4	5	5	4	4	5
		自由記述	ウイシュマさんの事件の教訓を深く胸に刻み、入管における処遇改善を継続的に注視、改善していきたい。								
		山田 肇	維新	5	5	5	5	3	5	5	5
		自由記述									
	2区	岡田 ひろみ	共産	5	3	5	5	5	5	5	5
			自由記述	これまでは医療の現場で命を守るために働いてきましたが、難民の問題に関わったことはありません。すべての人が人間としての尊厳を保障されることが必要で、日本に求められた外国の方も、当然そうあるべきです。日本では、政府の難民の扱いがたいへん問題があることは知っています。議員になったら、この問題も、回答した立場で取り組みたいと思います。							
	3区	高見 あつみ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本共産党の専従者として、様々な社会運動にかかわってきましたが、個人的に難民支援のための活動を行ってきません。日本共産党として党が掲げる難民保護、人権保障のための政策を主張し、外国人を犯罪者視しての人権無視の扱い、難民認定率が極端に低い問題をおおもとから転換し、世界水準の法体系に変えるよう取り組んできました。これからも、そうした立場で取り組みます。							
	4区	空本 誠喜	維新	4	4	4	4	2	3	4	4
			自由記述	「難民を助ける会」の創設者である故・相馬雪香先生師と仰ぎ、尾崎行雄記念財団にて様々な活動を行ってきました。							
5区	あずま かつや	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述									
	いのほら 真弓	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	昨年、野党が共同提出した難民等保護法案の成立にとりくんでいく								
6区	しげむら 幸司	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	昨年、野党が共同提出した、難民等保護法案の成立のためにがんばりたい。								
	井上 信也	立民	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	時々難民支援コンサート等に協力した事はあったが、これからは難民の皆さんの生の声をお聞きして保護の活動を進めていきたい。								
山口	1区	坂本 史子	立民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述									
	三藤 美智子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	外国人労働者が、憲法と労働基準法をはじめとした労働法に認められた労働者としての権利が保障され、人間らしい営みができるよう労働条件を改善することを求めます。								
	2区（※5）										
		自由記述									
3区	伊藤 博文	維新	5	5	5	5	3	5	5	5	

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
	自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする偽装難民の問題も併せて対処する必要があると考えている								
		吹上 政子	共産	5	5	5	5	5	5	5
徳島	1区	久保 孝之	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本国憲法に立脚して、外国人の人権を守り、地域社会で共生していける入管法への抜本的な改正を求めます。						
		高橋 えい	立民	5	5	5	5	5	5	5
	2区	はま 共生	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	外国人労働者に日本人と同等の労働者としての権利保障を確立します。育成就労制度では、早急に本人の意向による「転籍の自由」の保障と、労働者の家族帯同を認めるよう抜本的改善をはかります。国際人権法を順守し、抜本的な入管法改正、入管庁改革を行います。難民認定申請中の強制送還を無効化し、新設された永住権取り消し規定を削除します。日本生まれ、日本育ちの子どもとその家族に、実情に即した在留特別許可を積極的にすすめます。						
		祝 聡	維新	5	5	5	5	3	5	5
自由記述	労働を目的として難民申請をする偽装難民の問題も合わせて対処すべきと考えます。									
高知	1区	武内 則男	立民	5	5	5	5	4	4	5
			自由記述	これまででも人権擁護推進に取り組んできたが、国際水準に合致した難民保護の仕組みの構築のための法制度確立とともに、難民や在留外国人を含めた、あらゆる差別を禁止する「包括的差別禁止法」の制定に向け、各人権擁護団体等と連携した活動を行っていきたい。						
	2区	浜川 ゆりこ	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	ウイシュマさんの死亡事件は本当に衝撃的でした。非人道的な人権侵害が、国家権力の手で白昼堂々行われていたことに怒りと恐怖を覚えます。難民保護に取り組まれている方々の活動や主張に学び、頑張っていきたいです。						
香川	1区	小川 淳也	立民	4	4	4	4	4	4	4
			自由記述							
		たなべ 健一	共産	5	5	5	5	5	5	5
	2区	石田 まゆ	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	外国人の人権を保障するため、入管法の改正を求める。難民申請者の生活保障を充実させる。難民認定者への支援を強化する。						
		3区	ささい 孝志	共産	5	5	5	5	5	5
自由記述	日本国籍を持たない難民に対しても健康で文化的な最低限の生活が送れるように力をつくしたい。									
愛媛	1区	石本 憲一	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	地域社会で共生していける入管法へと改正に力をつくします。生活保障と支援拡充に取り組みます。						
	2区	白石 洋一	立民	4	4	4	4	4	4	5
			自由記述							
	3区	西井 直人	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	人権がしっかりと守られる国にしたい。						
福岡	1区	丸尾 圭祐	立民	5	5	4	5	4	4	5

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください	自由記述									
	村田 しゅんいち	社民	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	<p>これまでは、入管収容施設に収容されている方々への面会支援や、入管法改悪に反対するデモ・集会など運動的な関わりをしてきました。面会支援は社会民主党全国連合の事務所に入管収容施設の中で不当な取り扱いをされている当事者の方から電話があったことがきっかけでしたし、デモ・集会へは「トランスジェンダーであるが故に難民となり、日本にやってきて入管問題に直面する人々がいる」という実態をうけて、一般社団法人TransgenderJapanとして積極的に参加してきました。</p> <p>これからは、法制度の整備に取り組むと考えています。包括的差別禁止法成立に向けた取り組みは私の政治活動の原動力です。一方、入管行政と難民行政の分離、難民保護法、難民基本法の制度化は急務です。この「分離」の中には入管法の改廃の見直しも含まれています。これ以上、入管収容施設の中で犠牲となる方をうみだしてはなりません。</p>								
	山本 ごうせい	維新	5	4	5	5	3	5	5	5
	自由記述	残念ながら難民を装って入国しているケースがあることを踏まえて適切な対応が必要と考える。								
わたぬき 英彦	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	2023年以国民の批判を押し切って施行された改悪入管法は、難民と認定すべき外国人を排斥し、差別を助長するとうんでもないものだったと思います。今後、外国にルーツのある人々を尊厳ある人間として受け入れ共に生きていくため、運動をひろげるとともに、入管法の抜本改正を進めるためにがんばります。								
2区	本司 ゆきひろ	維新	1	1	5	5	3	5	5	5
	自由記述	労働を目的として、難民申請を行う偽装難民の問題への対応が必要。								
松尾 りつ子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	2023年以国民の批判を押し切って施行された改悪入管法は、難民と認定すべき外国人を排斥し、差別を助長するとうんでもないものだったと思います。今後、外国にルーツのある人々を尊厳ある人間として受け入れ共に生きていくため、運動をひろげるとともに、入管法の抜本改正を進めるためにがんばります。								
3区	奥田 ふみよ	れいわ	5	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述									
	にえだ 元気	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	<p>国際人権機関などは、日本の極端に低い難民認定率に深刻な懸念を示すとともに、司法審査を経ない、身体拘束や無期限収容を国際法違反の人権侵害だと批判しています。</p> <p>立憲民主党が提出した議員立法「難民等保護法案・入管法等改正案」では、出入国を規制する入管庁ではなく、政府から独立して難民を認定・保護する第三者機関の創設を提案し、収容に当たっては裁判所の許可を要件としました。また、外国人を労働者として、日本で共に暮らす生活者として受け入れ、ともに円滑に生活するための議員立法「多文化共生社会基本法案」も既に提出しています。</p> <p>引き続き、民族や国籍などに関するあらゆる差別の解消を目指して、「包括的差別禁止法」を制定し、新たな人権救済機関を設置するとともに、個人通報制度を導入するため、立憲民主党は全力をあげてまいります。</p>								
山口 ゆうと	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	2023年以国民の批判を押し切って施行された改悪入管法は、難民と認定すべき外国人を排斥し、差別を助長するとうんでもないものだったと思います。今後、外国にルーツのある人々を尊厳ある人間として受け入れ共に生きていくため、運動をひろげるとともに、入管法の抜本改正を進めるためにがんばります。								
4区	宗 晶子	社民	5	5	5	5	5	5	4	5
	自由記述	技能実習生グエットさんの無罪を求めます。大村入管で収容されている方に面会に行きました。現制度は外国人人権を守っていないので、改善したいと思います。								
5区	村山 まさみ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	2023年以国民の批判を押し切って施行された改悪入管法は、難民と認定すべき外国人を排斥し、差別を助長するとうんでもないものだったと思います。今後、外国にルーツのある人々を尊厳ある人間として受け入れ共に生きていくため、運動をひろげるとともに、入管法の抜本改正を進めるためにがんばります。								
福岡	6区	河野 かずひろ	共産	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	2023年以国民の批判を押し切って施行された改悪入管法は、難民と認定すべき外国人を排斥し、差別を助長するとうんでもないものだったと思います。今後、外国にルーツのある人々を尊厳ある人間として受け入れ共に生きていくため、運動をひろげるとともに、入管法の抜本改正を進めるためにがんばります。							
	7区	かめた 晃尚	立民	4	4	3	4	2	3	3
自由記述										
平島 しろう	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない			問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください		自由記述	2023年以国民の批判を押し切って施行された改悪入管法は、難民と認定すべき外国人を排斥し、差別を助長するとうんでもないものだったと思います。今後、外国にルーツのある人たちが尊厳ある人間として受け入れ共に生きていくため、運動をひろげるとともに、入管法の抜本改正を進めるためにがんばります。							
	8区	かわの 祥子	共産	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	2023年以国民の批判を押し切って施行された改悪入管法は、難民と認定すべき外国人を排斥し、差別を助長するとうんでもないものだったと思います。今後、外国にルーツのある人たちを尊厳ある人間として受け入れ共に生きていくため、運動をひろげるとともに、入管法の抜本改正を進めるためにがんばります。							
	9区	山田 ひろとし	共産	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	2023年以国民の批判を押し切って施行された改悪入管法は、難民と認定すべき外国人を排斥し、差別を助長するとうんでもないものだったと思います。今後、外国にルーツのある人たちを尊厳ある人間として受け入れ共に生きていくため、運動をひろげるとともに、入管法の抜本改正を進めるためにがんばります。							
	10区	いちのせ 小夜子	共産	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	2023年以国民の批判を押し切って施行された改悪入管法は、難民と認定すべき外国人を排斥し、差別を助長するとうんでもないものだったと思います。今後、外国にルーツのある人たちを尊厳ある人間として受け入れ共に生きていくため、運動をひろげるとともに、入管法の抜本改正を進めるためにがんばります。								
	城井 崇	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	国際法違反との強い批判を受けている現行の難民認定制度・収容送還制度を抜本的に見直し、わが国が締約国となっている「難民の地位に関する条約」や「国際人権規約」等の国際ルールに基づいて、保護すべき難民申請者や補完的保護対象者等を適切に保護できる新たな難民認定・保護制度を確立するため、政府から独立した第三者機関である「難民等保護委員会」の創設等を柱とする「難民等保護法・入管法等改正法」の制定を目指す予定です。								
福岡	11区									
		自由記述								
佐賀	1区	原口 一博	立民	5	5	5	5	4	4	5
		自由記述	○立法 ○政策提案							
	2区	井上 ゆうすけ	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述							
長崎	1区	内田 隆英	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述							
	2区	山田 勝彦	立民	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	昨年の国会、私たち立憲民主党は難民等保護法案・入管法改正案を提出した。私自身、政府提出の改悪入管法に対し、本会議場や法務委員会で真っ向から対決した。これからも外国人との真の共生社会の実現に向けて、全力を尽くす。						
		横田 ともひろ（※6）	維新	5	4	4	4	3	4	4
			自由記述	労働を目的として入国し、難民申請をする偽装難民の問題もあわせて対処すべきと考えている。						
	3区									
		自由記述								
熊本	1区									
			自由記述							
	2区									
			自由記述							
	3区	橋村 りか	社民	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述							
	4区									
		自由記述								
大分	1区	えとう 博昭	自民	5	4	4	4	4	4	4

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください		自由記述	特段、記載できるエピソードはございません。								
	山下 かい	共産	5	5	5	5	5	5	5		
		自由記述	難民保護は重要な人権問題であり、その点で我が国の現状はただちに改善が必要です。すべての人々の人権を守るために政治は責任を果たすべきです。								
	2区	広瀬 建	無所属	5	5	5	5	4	5	4	5
		自由記述									
		吉川 元	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	難民認定制度、収容送還制度を抜本的に改善し、難民の方々の受入れと人権保護を改善すべき。政府から独立した難民等保護委員会（仮）の創設をめざす								
	3区	小林 かやこ	立民	5	5	5	5	4	4	4	5
		自由記述									
		大塚 光義	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
	自由記述	大分県にも多くの外国人労働者や留学生がいます。お困りごとがあれば積極的に相談や支援に応じたいと思います。									
宮崎	1区	渡辺 創	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	日本の難民認定率は他の先進諸国と比べ、極端に低くなっています。我が国も世界各国と同様に難民保護の責任を分担するためにも、国際ルールに基づいた新たな難民認定制度の確立が必要と考えます。また、難民保護に関する第三者機関の創設を目指します。								
	2区	白江 好友	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	現状でも入管庁は、送還忌避者と一方的に決めつけ送還ノルマを決めて決めて強制送還しています。仮放免中は働くことを許さず、深刻な生活苦によって帰国せざる得ない状況に追い込んでいます。「難民認定者数が極めて少ない」「送還ありきの審査」など認定難民制度に重大な問題があります。こうした入管行政と難民認定審査を大本から見直す運動と世論を強めるために広範な人々と共同してがんばりたいと決意しています。								
		長友 慎治	国民	5	5	5	5	3	4	4	5
		自由記述									
3区	新村 はつよ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	外国ルーツの人たちを尊厳ある人間として受け入れ、共に生きる制度をつくるために入管法の抜本改正を実現したい。「迫害を受けるおそれがあるという十分に理由のある恐怖」を持つ人は難民として保護すべきだとする難民条約を日本政府が批准した責任を政府に果たさせることに力を尽くしたい。									
鹿児島	1区	川内 博史	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	国際法違反との強い批判を受けている現行の難民認定制度・収容送還制度を抜本的に見直し、わが国が締約国となっている「難民の地位に関する条約」や「国際人権規約」等の国際ルールに基づいて、保護すべき難民申請者や補完的保護対象者等を適切に保護できる新たな難民認定・保護制度を確立するため、政府から独立した第三者機関である「難民等保護委員会」の創設等を柱とする「難民等保護法・入管法等改正法」の制定をめざします。								
		まつざき 真琴	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	2021年に名古屋出入国管理局に収容中だったスリランカのウィシユマ・サンタマリアさんの死亡事件を受け、わが党を含む4野党・各党派で難民等保護法案と入管法改正案を参院に共同提出しました。現行法では、難民認定が入管庁の裁量に委ねられ、公平性にも中立性にも欠ける運用がされています。出入国管理と難民保護を行う主体とを分離すべきと考えます。現行法の改善を求め、日本に暮らす難民となった人たちの人権がしっかりと守られ、保護されるよう、取り組んでいきたいと考えます。								
	2区										
		自由記述									
	3区										
		自由記述									
	4区										
		自由記述									
沖縄	1区	赤嶺 政賢	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	迫害を受ける恐れがある国への追放・送還は絶対にやってはなりません。入管法を抜本的に改正しましょう。外国人の人権が守られ、安心してくらせる社会をご一緒に作りましょう。								

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください	下地 ミキオ	無所属	5	5	4	4	3	3	4	4	
		自由記述									
	2区	新垣 邦男	社民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述									
	3区	屋良 朝博	立民	5	5	5	5	5	5	5	
		自由記述									
	4区										
		自由記述									
比例	北海道	石川 知裕	立民	5	5	5	5	4	5	5	5
			自由記述								
		鳴海 一芳	社民	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	特に具体的な予定はありませんが、人権は人類普遍の権利なのでその立場で難民の皆様への処遇改善を実現できるよう、できることをやっていきたいと思っています。							
		畠山 和也	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	日本は難民と認定すべき人の99%を認定せずに排斥、ウィシユマさんが亡くなった事件後も処遇は変わらず、幸福追求権も生存権も奪われています。難民条約を批准した国として許されません。23年の入管法改悪では難民認定申請中の強制送還を可能にし、永住者資格の取り消し制度などが強行されるなど、日本国憲法が定める人権尊重をふみにじる状況がさらに悪化しています。自民党政治による外国人差別と排外主義が元凶です。日本共産党はこれまで、難民への人権侵害を厳しく告発し、難民支援の運動にも連帯して支援を重ねて要求してきました。入管法改悪には最後まで反対し、外国人に対する「差別と排斥の歴史を終わらせ、保護と共生を」と訴えました。国際人権法を順守し、法務省から独立した難民認定機関の設置や長期収容に上限を設定するなど抜本的な入管法改正をただちに行うべきです。外国にルーツのある人たちの尊厳を守り、共に生きる制度にすべきです。							
	渡辺 孝一	自民	5	5	4	4	3	5	3	5	
		自由記述									
比例	東北（※7）	大内 まり	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	<p>入管法改定案めぐって国民の不信と怒りを広げたのは、名古屋出入国在留管理局に収容中に死去したスリランカ人女性、ウィシユマ・サンダマリさん=当時（33歳）の事件と、その真相究明に背を向け続けた菅政権（当時）の姿勢でした。入管施設内で人命が失われた深刻な事件にもかかわらず、法務省・入管当局は真相を明らかにしようとしませんでした。ウィシユマさんの収容状況を撮影したビデオの全面的な開示をはじめ、事実経過と責任の所在を明確にすることが不可欠です。入管行政においては、長期収容などの人権侵害が繰り返され、2007年以降だけでも入管施設でウィシユマさんを含め17人もの死亡者を出しています。この異常事態に根本的にメスを入れなければなりません。入管法改定案の審議の中では、在留資格を失った外国人を全て施設に収容する「全件収容主義」の過酷な実態が厳しく問われました。裁判所の関与もなく、入管当局の裁量任せのやり方は世界に通用しません。国連の人権理事会などから何度も是正と改善を求められていることを政府は真剣に受け止めるべきです。難民申請の認定率があまりにも低すぎる日本の仕組みにも批判が相次いでいます。日本共産党は、日本国憲法に立脚して、外国人の人権を守り、地域社会で共生していける入管法への抜本的な改正を求め続けてきました。第204通常国会に野党共同で提出した入管法抜本改正案の実現をめざします。</p> <p>法務省の判断で外国人を収容することができる全件収容主義を改め、収容には司法判断を必須とします。収容期限に上限を設けます。入管施設に収容されている者を仮放免できる制度を拡大します。</p> <p>出入国在留管理庁から難民行政を切り離し、独立した難民等保護委員会を新設します。現在の難民認定審査の在り方を、事案の実情に即した適切な判断を行うものへと大きく変えます。</p> <p>外国人個々の事情を考慮し、柔軟な在留特別許可制度にします。短期在留資格における就労許可を拡大します。難民申請者など留資格を求める外国人に対する、生活支援制度を設けます。</p>							
		岸田 清実	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述								
		馬場 ゆうき	立民	5	4	4	4	3	4	3	4
		自由記述									
比例	北関東	梅村 さえこ	共産	5	5	5	5	5	5	5	

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管行から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
自由記述		<p>地元の蕨市や川口市で行われている在日クルド人に対するヘイトスピーチは断じて許せません。日本は難民認定率が低すぎると考えます。昨年、今年と、党国会議員団とともに川口市内でクルド人の子どもたちと懇談、家庭を訪問、建設業に携わる方々、また地域で医療支援にとりくんでいる病院から実態、要望を聞きました。</p> <p>こうした懇談、要望にもとづいて、学校、教育、医療、ヘイト問題など何度か国会要請を行いました。</p> <p>子どもたちから「入管にクソガキという言葉浴びせられた」には、言葉が出ませんでした。多くのみなさんのご尽力で、国は昨8月、日本で生まれ育った外国人の小中高生に、親に重大な犯罪歴がある場合などを除き親子に在留特別許可を出す方針を示しましたが、懇談では多くに出していないことも明らかになりました。高3生は進学を目指し将来は医療関係の仕事について社会に貢献したいと思っていますがビザが出ていないので就職できないのではと不安を訴えました。</p> <p>ヘイトスピーチへの恐怖も語られました。子どもの権利条約に反する事態です。放置できません。日弁連のクルド人に対するヘイトスピーチへの抗議集会にも参加してきました。日本政府の排外主義、差別、人権侵害をなすために全力を尽くします。</p>								
輿水 恵一	公明	4	4	3	3	3	3	3	4	
	自由記述									
塩川 鉄也	共産	5	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	<p>北関東ブロック、とくに埼玉県の川口市・蕨市では多くの外国人が住んでおり、その中には難民申請中の特定在留者や仮放免の方も多く生活しています。私は、この間、外国籍居住者の方々、その子供たちと懇談を重ねてきました。政府・自治体に対し、外国籍居住者の命と人権を守るため国の法整備、制度構築を求める要望を行っています。就労や医療、教育などで不自由をしいられる難民申請中の特定在留者や仮放免の人への支援、ヘイトスピーチ解消法の改善を求めています。そもそも、日本は難民の認定率が低いことから矛盾が広がっています。生きる権利の保障のため、今後も力を尽くします。</p>								
土屋 香織	社民	5	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	<p>低すぎる日本の難民認定率を上げるために法整備をすすめます。また、難民の方々が安心して日本で暮らせるよう、社会保障を日本人と同様に受けられる形にし、日本語教育支援、就労支援を強化します。難民の方々への支援は、NPO法人や民間の方々任せになっていますが、これまで尽力されてきた皆様のお声を聞きながら、日本の難民保護・難民支援に関する政策を改善させていきたいと考えております。</p>								
比例	南関東	志位 和夫	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	<p>日本における難民認定は申請に対する認定率が低く、2023年の入管法改定で難民認定申請中の強制送還を可能にするなどの改悪が強行されました。日本も批准している難民条約や国際人権法を順守し、法務省から独立した難民認定機関の設置など抜本的な入管法改正を引き続き国会で求めています。</p>						
		さいとう 和子	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	<p>小さい頃に親と一緒に日本に避難し、日本で暮らし、日本語しか話せない子供が、難民申請が受け入れられず、母国に強制送還される問題があった。あまりにも実態にそぐわない。国際基準に基づいた難民申請のあり方に変える必要がある。</p>						
		はたの 君枝	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述							
比例	東京	伊藤 和子	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	<p>国連拷問禁止委員会などから厳しく批判されてきた長期収容に上限を設定し、人身拘束はかならず司法審査を行います。難民認定申請中の強制送還を可能とする改悪は無効化します。新設された永住権取り消し規定を削除します。</p>						
		坂井 和歌子	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	<p>難民条約、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の基準など国際人権法を順守し、法務省から独立した難民認定機関の設置など抜本的な入管法改正、入管行改革をすすめます。</p>						
		田村 智子	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	<p>コロナ禍で国から何の支援もなく困窮していた難民のみなさんへの国の給付金を支給することや、同様にコロナ禍で事実上解雇をされた技能実習生への雇用保険や給付金の支払いを求めて質問を行いました。国際基準の難民・出入国行政の実現や国籍や在留資格で差別することのなく生存権保障がされるよう全力をあげていきます。</p>						
		本多 平直	立民	5	3	5	5	4	5	5
			自由記述							
比例	北陸信越	平 あや子	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	<p>日本国憲法に立脚して、外国人の人権を守り、地域社会で共生していける制度設計が必要だと思います。入管法への抜本的な改正、外国人労働者の労働条件を改善、育成就労制度の廃止を含めた根本からの見直し、人間らしい生活を保障するための施策などに取り組んでいきたいと思っています。</p>						

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない			問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善するべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください	中川 宏昌	公明	5	3	4	3	3	3	3	5	
		難民保護に向け行ってきた取り組みと今後の取り組み									
		<p>昨年の通常国会で、外国人の収容・送還ルールを見直す改正入管難民法を成立させた。改正法は外国人の長期収容問題を改善するのが目的。外国人の人権を尊重しつつ、ルールに違反する者には厳正に対処することを可能とし、共生社会の実現・維持の基盤を整備する法改正となった。</p> <p>内容は、親族や支援者ら「監理人」の監督を条件に入管施設外で生活しながら、退去強制手続きを進める「監理措置」制度を導入。入管施設に収容した場合でも3カ月ごとに収容の要否を検討。2年前に施設でスリランカ人女性が亡くなった事案を踏まえ、仮放免の判断は医師の意見を聴くなど健康状態に配慮することや、常勤医師の兼業要件を緩和し、施設の医師確保を進める。</p> <p>ウクライナ避難民のような難民条約上の難民に該当しない紛争避難民などを「補完的保護対象者」（準難民）として保護する制度も新設。難民認定手続き中は強制送還を一律に停止する規定（送還停止効）に例外を設け、3回目以降の申請者を送還可能に。送還を逃れるため難民申請を繰り返すケースが多くみられたことを踏まえた。3回目以降の申請でも、難民などと認定すべき「相当の理由がある資料」が提出された場合は送還を停止する。万が一にも保護すべき人が送還されない仕組み。このように、送還回避・長期収容問題に対応するだけでなく、紛争避難民などを保護する制度や在留特別許可の申請制度の創設が盛り込まれるなど、人道上、真に保護すべき人を保護する上でも前進と言える。</p> <p>さらに衆参両院の法務委員会では、難民認定審査に携わる関係者への研修や出身国情報の収集力強化などに関する条文修正、付帯決議を行い、政府に審査の充実を求めた。</p> <p>改正法を巡り公明党は、党法務部会などで議論を重ねてきた。国会審議では、改正法で新たに創設される在留特別許可の申請制度に関連し、外国人の子どもの利益確保や家族分離の禁止をガイドラインに盛り込むよう主張。斎藤健法相から前向きに取り組むとの答弁を引き出した。</p> <p>改正法は収容に関する制度を大きく見直すもので、死亡事案の再発防止にも必要不可欠だ。公明党は外国人の人権に配慮した適切な運用が行われるよう強く求めている。</p>									
		藤野 やすふみ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述									
		堀井 修	社民	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述 移民、難民の排除を許さず、外国人の人権を護ります。定住外国人の地方参政権を実現します。									
		松崎 晃治	自民	5	4	3	5	4	4	4	5
		自由記述									
		比例	東海	すやま 初美	共産	5	5	5	5	5	5
私の住む愛知では、名古屋入管でウィシュマさんが亡くなる悲しい事件が発生しました。法務委員である、もとむら伸子衆議院議と共に、難民支援に取り組む人々と懇談し、支援の実態を聞いてきました。また党県人権ジェンダー平等部の責任者として、難民や外国籍の方、外国にルーツをもつ人々の置かれている実態についても拙い努力をしてきました。											
<p>迫害を受ける恐れがある国への追放・送還を禁じた難民条約のノン・ルフールマン原則に反する入管法や、世界で当たり前の透明性・公平性からかけ離れた日本の難民認定制度を改正し、日本で生きる外国人の人権を保障するために、現場の実態を国政に届けたいと思います。</p>											
西園 勝秀	公明			5	3	4	3	3	4	3	4
自由記述											
本村 伸子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5		

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党 = 自民、公明党 = 公明、立憲民主党 = 立民、日本共産党 = 共産、日本維新の会 = 維新、国民民主党 = 国民、れいわ新選組 = れいわ、社会民主党 = 社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない		
自由記述	自由記述	<p>国会では、法務委員会委員として、難民保護に関わる質問などしてきました。引き続き、国際人権基準に沿った人権尊重の制度に徹底的に見直すために全力を尽くします。</p> <p>(主な国会で質問・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難民認定の専門性のある第三者機関をつくり、低すぎる難民認定を是正すること。 ・難民認定率が異常に低く、専門性のある第三者機関もないのに、難民認定申請中の人も送還可能としたことは人道に反しており、法改悪を撤回すべきこと。 ・人道、人権上、深刻な状況にある国・地域の方々の保護を行うこと。 ・難民認定申請中の方々が野宿等になることがないように予算をしっかりとつけること。 ・収容制度に関しては、以下の点を提起してきました。 - ウィシユマさんを死ぬまで追い詰めた、命と尊厳を軽視してきた入管行政を抜本的に改めること - ウィシユマさんの全ての映像記録と資料を開示し、死因始め真相究明をすること。 - 監理措置が適用されない限り常に収容が優先する原則収容主義が維持されており、収容に当たっての司法審査もなく、収容期間の上限もなく、国連人権理事会特別報告者などから国際人権基準を下回っている。国際人権法に違反する、徹底的に見直しをとの厳しい指摘を受けており、早急に是正すべきこと。 ・仮放免や在留資格のない子どもを放置し、医療を受けさせないことなどは子どもの権利条約違反であり、早急に子どもと家族に在留特別許可を出すこと。 									
	山口 ゆうき	共産	5	5	5	5	5	5	5		
自由記述	自由記述	<p>難民をこぼむような日本政府の姿勢と行政は間違っている。入管法の抜本的改正が必要であり、とりくみたい。難民申請者にたいして「迫害を受けるおそれ」を立証せよというのは無理強いだ。もっと定義を柔軟なものに改める。また申請以降も生活が安心に人間らしくくらする人権が守られる入管行政にするためにとりくむ。日本は平和的人道的支援をもっと強化して難民を守るために力をつくすべきだ。</p>									
比例	近畿	小寺 裕雄	自民	4	4	4	3	2	4	4	3
		自由記述									
		辰巳 孝太郎	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	<p>以前に大阪入国管理局に収容されている方からお話を聞きました。難民申請を2回却下された方の「人間らしく生きたい」との言葉は当然のことと思うとともに、制度改善が急がれると実感しました。日本の難民認定が極端に少ない状況は重大です。認定・支援の改善を求めていきたいと思えます。</p>								
		西川 弘城	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	<p>難民の方々の生命と諸権利が全て守られる様にとり組んでいきたい。</p>								
富士谷 香恵子	共産	5	5	5	5	5	5	5	5		
自由記述	<p>日本の難民認定制度では、難民と認定すべき外国人が排除されており、改革すべき。入管法の改正は必要である。外国の人たちを尊厳ある人間として受け入れ、共に生きる制度をつくらなければならない。力をつくしたい。</p>										
比例	中国	石橋 林太郎	自民	5	1	2	2	1	4	3	4
		自由記述									
		大平 よしのぶ	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	<p>昨年、野党が共同提出した難民等保護法案の成立にがんばります。</p>								
		垣内 京美	共産	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述	<p>野党が昨年共同提出した難民等保護法案の成立に取り組みたい。外国人に対する「差別と排斥の時代を終わらせ、保護と共生」「つないだ手を絶対にはなさない」決意です。</p>								
		加藤 壽彦	立民	5	5	5	5	5	5	5	5
		自由記述									
		日下 正喜	公明	5	5	4	4	3	5	4	4
		自由記述	<p>法務委員会にて難民の保護、補完的保護等々の法改正議論に参加しておりました。私が携った内容は議事録の通りですが、今後の運用や体制の整備など、不備なくきちんと為されていくか注視してまいります。</p> <p>日本にとって国際社会の平和と安定は重要で、人道的にも貢献すべきと考えます。難民や避難民等の受け入れについても、適正にスムーズに行われていくべきだと考えています。</p> <p>問5に関して、法改正後の運用など具体的に見た上で、今後、その必要が生じた場合は「入管庁と独立した組織」云々の検討があってもよいと思います。</p> <p>問8に関して、難民申請者の申請理由やその真偽なども慎重に見定める必要があると思えます。</p>								

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

自由民主党=自民、公明党=公明、立憲民主党=立民、日本共産党=共産、日本維新の会=維新、国民民主党=国民、れいわ新選組=れいわ、社会民主党=社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない		問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい	問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい	問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい	問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ	問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ	問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ	問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ	問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない	
自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください	宮本 輝男	社民	5	5	5	5	5	5	5	
	自由記述	40年ぐらい前に、ベトナムからのポートビールの若者が日本国籍を取得し、同じ会社で働き、交流が今でも続いている。今後は、こういった事例ができれば、法制備を進めていかなければならないと思います。								
	山崎 まさやす	公明	5	4	5	4	3	4	4	
自由記述	○長期収容の問題を改善し保護すべき人を確実に守っていく ○準難民制度を活用し、積極的に紛争避難民を受入れ支えていきたい									
比例	四国	篠原 清	社民	5	5	5	5	5	5	
		自由記述	◎日本は国際協調の考え方が非常に弱い。島国根性をすて、早く国際レベルに達することが必要 ◎今回の入管法改悪に対する署名等に参加した							
		白川 よう子	共産	5	5	5	5	5	5	5
自由記述										
比例	九州	島袋 恵祐	共産	5	5	5	5	5	5	
			自由記述	日本政府が極端に狭く解釈している難民の定義を改善し、入管法の抜本的な改正を進めることに力を尽くします。難民が生まれる根本的な原因をなくすためにも、とりわけ紛争が平和的な手段によって解決されるよう、日本政府が外交的役割を果たすことを強く求めています。						
		田村 貴昭	共産	5	5	5	5	5	5	5
			自由記述	地元九州で相談支援活動に携わった経験があります。難民問題に政府が積極的に役割を果たすよう求めています。						
※れいわ新選組（党としての回答）			5	5	5	5	5	5	5	
自由記述	党代表である山本太郎参議院議員は何度も入管施設を訪問し、その被收容者の劣悪な生活環境の実態について、国会で質問してきました。政府提出の問題の多い入管法が強行採決されようとした場合には、身体を張って採決を止めようとした。									

備考
<p>※1 複数回答をいただきました。</p> <p>1回目の回答の自由記述</p> <ul style="list-style-type: none"> 友人の一人が編んだ毛糸の帽子を難民協会に提供させていただいた。会の方から、ていねいなお礼のことばを頂き、恐縮したことがある。 これからの日本は、諸外国の人々と交わり合って交流していかなくてはならず、排他主義的な古い考えを持つ政権は変えていかなければならない。日本共産党はひきつづき、難民支援と取り組んでいきます。
<p>※2 大河内 しげた氏</p> <p>今回は、お答えを控えさせていただきます。</p> <p>大変申し訳ありませんが、宜しく願いいたします。</p>
<p>※3 複数回答をいただきました。</p> <p>1回目の回答の自由記述</p> <p>日本の難民認定制度は、難民認定される外国人が極めて少なく、難民「送還ありき」で審査が行われている。今年6月、国会では、改定入管法が施行されたが、その法は名古屋入管で亡くなったウイッシュマンさん事件をきっかけに廃案に追い込まれた法案とほぼ同じだった。今後、入管行政と難民認定審査を大本から見直す運動と世論を強めて行きたい。</p>
<p>※4 複数回答をいただきました。</p> <p>1回目の回答の自由記述</p> <p>入管法の改正など、外国ルーツの方々を受け入れ、ともに生きていける社会をつくっていききたい。</p>
<p>※5 山口2区 岸 信千世氏</p> <p>衆議院の解散から間を置かず、次期衆議院議員選挙が10月15日にスタートすることとなりました。</p> <p>9日までは臨時国会への対応など職務の遂行に邁進しておりました岸のぶちよは、その直後にスタートする衆議院議員選挙については、山口県と日本にとって未来の選択となる重要な選挙戦と位置付け、全力で取り組むこととしており、誠に残念ながらマスコミ以外の個別のご質問等は物理的にお答え致しかねるのが実情です。</p> <p>この度、貴会より質問状をいただきましたが、ご承知のように、岸のぶちよは次期衆院選にあたり、マスコミ各社のアンケート等で有権者の皆様の関心事については、等しく訴えさせていただきたいと考えていますので、それらをご参照賜れば幸いに存じます。</p> <p>以上、諸事情ご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>※6 複数回答をいただきました。2回目の回答を記載しています。</p>

2024年衆議院議員選挙：立候補者アンケート回答（10/22時点）

特定非営利活動法人難民支援協会

自由民主党=自民、公明党=公明、立憲民主党=立民、日本共産党=共産、日本維新の会=維新、国民民主党=国民、れいわ新選組=れいわ、社会民主党=社民

※立候補者の一部について、回答者からのご連絡を受け回答内容の修正を行っています。

<p>5=そう思う、4=ややそう思う、3=どちらともいえない、2=あまりそう思わない、1=そう思わない</p> <p>自由記述：日本で暮らす難民の保護に向けて、これまで行ってきた取り組みや、これから行いたい取り組みがあれば、ご記入ください</p>	<p>問1 日本で暮らす外国人の安心と尊厳が守られる社会をつくりたい</p>	<p>問2 包括的な差別禁止法の制定に取り組みたい</p>	<p>問3 国内での難民受け入れを通じて、国際社会に貢献したい</p>	<p>問4 難民条約の締約国として、日本の難民認定状況を改善すべきだ</p>	<p>問5 難民認定に関する入管庁から独立した組織や、難民保護に関する法律が必要だ</p>	<p>問6 日本で暮らす難民が生活に困窮しないための公的な仕組みが必要だ</p>	<p>問7 国際基準に則って、出入国管理における収容の期間に上限を設けるべきだ</p>	<p>問8 難民申請者を迫害を受けるおそれがある国に送還するべきではない</p>
<p>※7 比例東北ブロック 森下 千里氏 アンケートに関するお願い この度アンケートのお問い合わせ、誠にありがとうございます。 ご承知の通り、政局が大変急激に進んでおり、公示まで時間がほとんど無い状況です。 森下事務所は極めて限られたスタッフで準備を進めており、アンケートにお答えする時間がありません。 本来でありますならば、このような政策アンケートにはじっくりと真摯にお答えすべきですが、慌ただしい中での拙速なる回答では逆にご迷惑をおかけしてしまいかねません。 諸事情を何卒ご理解いただき、選挙が終わりましたら改めてお問い合わせ願えれば幸いです。 よろしく願い申し上げます。</p>								